

平成31年度（平成31年4月入学）
平成30年10月入学

九州工業大学大学院情報工学府

博士後期課程

学 生 募 集 要 項

（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）

国立大学法人九州工業大学 大学院情報工学府

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4

電話 0948-29-7520（直通）

E-mail: jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

必ずお読みください Important: Please Read

※ 本冊子 24 ページ以降の「教育研究分野及び授業科目」に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

* A list of academic staff's areas of research and courses taught is provided in this booklet starting from page 24. Any revisions or amendments to this list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

※ 本学生募集要項に関して、追加事項等がある場合、本学ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

* Any revisions or amendments to the enrollment application procedures shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

※ 平成 32 年度・平成 31 年 10 月入学大学院情報工学府博士前期課程及び博士後期課程の学生募集に関して、予告する事項がある場合、本学ホームページにて随時周知します。

* Any announcements regarding enrollment to the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering master's and doctoral programs for the October 2019-2020 academic year shall be displayed on the university website.

(九州工業大学ホームページ Kyushu Institute of Technology website)

<http://www.kyutech.ac.jp/>

目 次

入学者受入方針	1
平成 31 年度・平成 30 年 10 月入学 九州工業大学大学院情報工学府 (博士後期課程) 学生募集要項	2
平成 31 年度・平成 30 年 10 月入学 九州工業大学大学院情報工学府 (博士後期課程) 社会人特別選抜募集要項	6
平成 31 年度・平成 30 年 10 月入学 九州工業大学大学院情報工学府 (博士後期課程) 外国人留学生特別選抜募集要項	11
出願資格の審査申請について	19
長期履修制度について	19
九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度	20
九州工業大学大学院情報工学府の概要	22
教育研究分野及び授業科目	24

◎個人情報の取扱いについて

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 入学者選抜で利用した成績等を、入学後の学習指導等で利用します。
- (2) 入学者選抜で利用した成績等を、1 年次における授業料免除等の修学支援業務、ティーチングアシスタント及びリサーチアシスタントの雇用業務で利用します。
- (3) 入学者選抜で利用した成績等の個人情報を、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。

※ 本学が取得した個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

※入学者選抜に関する照会先

九州工業大学情報工学部大学院係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

電話 0948-29-7520 (直通)

E-mail:jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

入学者受入方針

1. 本学大学院博士後期課程の入学者受入方針

九州工業大学大学院は、開学以来の理念である「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき、高い専門性と深い学識を持ち、卓越した能力と豊かな創造性を持って、研究・開発に従事できる高度技術者を育成します。

理工学系専門分野において、最先端の知識と研究開発能力、および他分野と接する境界領域の知識の修得を目指し、これらに必要な専門分野の高度な知識を修得しているとともに、プレゼンテーション力、外国語によるコミュニケーション力、社会に果たす役割の理解、自立性、チームワーク力を身につけている皆さんの入学を期待します。

- (1) 技術者としての独創的思考および研究開発活動を行うための工学専門分野における高度な知識を修得している
- (2) 各専門分野が社会で果たす役割を理解できる
- (3) 研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得している
- (4) 新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得している
- (5) 外国語によるコミュニケーション能力を身につけている
- (6) 自己の役割の認識を深める態度を有している
- (7) 未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理ができる
- (8) チームの一員としてチーム活動の改善を提案することができる

入学者の選抜においては、上記について、研究報告、研究計画、面接試験、成績証明書により評価します。

2. 大学院情報工学府博士後期課程の入学者受入方針

【技術者及び研究者としての養成目標】

情報科学・情報工学の高い専門性に基づいて、情報技術の発展に有用な先端的な基盤技術を開発したり、いろいろな分野の科学技術との融合により実在する種々の課題に対処できる革新的な情報システムを構築したり、更に IT 技術の将来を先取りし社会の仕組みまでを変革するグローバルリーダーとなり得るような、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる姿勢を身につけた人材の養成を目指しています。

【求める人材】

(1)先端的基盤技術を開発するための情報科学・情報工学とその応用領域又はそれらの成果を活用・展開して学際領域を開拓するための境界領域のいずれかにおける問題解決能力を修得しており、(2)研究開発の社会的波及効果を理解しながら未知の課題を探究し、(3)その解決のために情報工学的アプローチを用いて努力する強い意志と前向きな姿勢をもち、(4)人と協調して問題解決に当たるための日本語と外国語による十分なコミュニケーション能力を有する人材を求めます。

【一般選抜で受け入れる人材】

(1)情報工学・技術の研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し、(2)外国語によるコミュニケーション能力を身につけ、情報専門分野の新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し、(3)未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を修得している人材を受け入れます。

【社会人特別選抜で受け入れる人材】

(1)社会人技術者・研究者としての経験を活かして、最新の知識・技術を体系的に修得し直すことで、社会の発展を牽引しようとする強い意欲を有し、(2)情報工学・技術の研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し、(3)外国語によるコミュニケーション能力を身につけ、情報専門分野の新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し、(4)未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を修得している人材を受け入れます。

【外国人留学生特別選抜で受け入れる人材】

(1)情報工学・技術の研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し、(2)コミュニケーション能力を身につけ、情報専門分野の新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し、(3)未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を修得している人材を受け入れます。

平成31年度（平成31年4月入学）
 平成30年10月入学
 九州工業大学大学院情報工学府
 （博士後期課程）
 学生募集要項

1. 募集人員

専攻名	第1次募集		第2次募集
	平成31年4月入学	平成30年10月入学	
情報工学	14名	若干名	若干名

2. 出願資格

- (1) 日本の修士の学位を有する者及び平成31年3月（ただし、平成30年10月入学志願者は、平成30年9月とする。以下の各号において同じ。）までに取得見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者及び平成31年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。）に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (7) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (9) 本学府において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成31年3月までに24歳に達する者

【注】 出願資格(7)から(9)によって出願する者は、19ページの「出願資格の審査申請について」を参照のこと。

3. 出願期日

- <第1次募集> 平成30年 5月21日（月）～ 25日（金）
 <第2次募集> 平成31年 1月21日（月）～ 25日（金）

第1次募集，第2次募集ともに，窓口受付時間は，午前9時から午後4時までとする。
 なお，郵送の場合は，本学所定の封筒（簡易書留）を用い，期日までに到着したものを受け付ける。

4. 出願手続

志願者は，次の書類等を一括取り揃え，所定の期日までに情報工学部大学院係に提出すること。

出願書類等	注意事項
① 入学願書	本学所定の用紙を用いて，太線内の必要事項を記入すること。
② 受験票，写真票	
③ 入学検定料（30,000円）	<p>ゆうちょ銀行の窓口，あるいはコンビニ端末で納付すること。</p> <p>ゆうちょ銀行の窓口で振り込む場合は，本学所定の入学検定料払込用紙により郵便局で振込のうえ，「検定料納入証明書」（受付局日付印が押されたもの。）を必ず受け取り，願書の裏面に貼付すること。</p> <p>コンビニ端末で振り込む場合は，「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内」を参照の上，支払い，取扱明細書または取扱明細書兼領収書の「収納証明書」部分を切り取り，願書の裏面に貼り付けること。</p> <p>ただし，本学大学院博士前期課程修了見込みの者で，引き続き博士後期課程に進学する者及び日本政府（文部科学省）国費留学生からは，入学検定料は徴収しない。</p>
④ 修士の学位取得（見込）証明書	<p>出身大学等の学長，研究科等（大学以外は出身学校長）が作成したもの。</p> <p>ただし，本学府博士前期課程を修了（見込み）の者，及び出願資格(7)から(9)により出願する者は提出不要。</p>
⑤ 成績証明書	<p>出身大学等の学長，研究科等（大学以外は出身学校長）が作成し，厳封したもの。</p> <p>ただし，本学府博士前期課程を修了（見込み）の者，及び出願資格(7)から(9)により出願する者は提出不要。</p>
⑥ 研究（希望）計画書	本学府における研究（希望）計画（1000字程度）を記入すること。（様式については，別紙参照）
⑦ 修士論文及びその概要	<p>修士号取得者は修士論文及びその論文の内容を要約した概要（2000字程度）を提出すること。（様式については，別紙参照）</p> <p>修士号取得見込者及び修士論文未作成の者は，これに代えて研究内容の分かるものを提出すること。</p> <p>ただし，本学府博士前期課程を修了（見込み）の者，及び出願資格(7)から(9)により出願する者は提出不要。</p>
⑧ 公表論文等の業績リスト	可能な限り，別刷を添付すること。（様式任意）
⑨ 受験票送付用封筒	本学所定の封筒に，住所，氏名及び郵便番号を明記し，362円切手を貼付のこと。
⑩ 在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し	日本国内に居住する外国人志願者のみ提出すること。
⑪ あて名票	本学所定の用紙に記入すること。

5. 選抜方法、選抜日時・場所及び合格発表

<第1次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。ただし、平成31年4月入学者の選抜において、修士の学位を取得見込みの者には、第1次選考合格者が対象となる第2次選考を行う。

※ 修士の学位を取得見込みの者であっても、第2次選考を経ずに最終合格とすることがある。

(1) 第1次選考

1. 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。ただし、平成31年4月入学者の選抜において、修士の学位を取得見込みの者には、修士論文又はそれに代わる研究論文に関する口述試験は行わない。

2. 選抜日時

平成30年 7月 8日(日) 午前9時～

3. 選抜場所

九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)

4. 第1次選考合格発表

平成30年 7月20日(金) 午前10時

本学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

第2次選考を経ない最終合格者も同様とする。

(2) 第2次選考

1. 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文に関して口述試験を行う。

2. 選抜日時・場所

平成31年 2月12日(火)までの間に、九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)で行う。なお、詳細は、第1次選考合格者に別途通知する。

3. 第2次選考合格発表

平成31年 2月19日(火) 午前10時

本学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

<第2次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

1. 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。

2. 選抜日時

平成31年 2月12日(火) 午前9時～

3. 選抜場所

九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)

4. 合格発表

平成31年 2月19日(火) 午前10時

本学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

【注】① 平成30年10月入学者の選抜では、第2次選考を行わない。

② 選抜日時及び選抜場所については、志願者に相談のうえ変更することがある。この場合は、後日連絡を行う。

③ 合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について、コンピュータで表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されるので、ご了承ください。

(例) 吉→吉 廣→廣 角→角

6. 入学手続きに必要な経費

- (1) 入 学 金 282,000円
ただし、本学大学院博士前期課程修了見込みの者で、引き続き博士後期課程に進学する者からは徴収しない。
- (2) 授 業 料 267,900円（前期分）
在学中に授業料改定が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用される。
- (3) 諸 納 金 学生教育研究災害傷害保険料等
※ 上記の入学金・授業料は平成30年度の金額であり、平成31年度のコ額は未定である。入学希望者へは、入学手続書類を送付する際に確定額を通知する。

7. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、必ず受験票を携帯すること。
- (2) 出願手続き後の提出書類の記載事項の変更は認めない。
- (3) 既納の入学検定料は、還付しない。
- (4) 身体に障害があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に情報工学部大学院係に相談すること。
- (5) その他入学者選抜に関する照会は、情報工学部大学院係宛に行うこと。

8. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

<http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

9. 不測の事態発生時における諸連絡について

災害時における不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については、本学のホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）等により周知しますので、注意してください。

また、試験当日、公共交通機関に不測の事態が生じた場合は、情報工学部大学院係に連絡してください。

平成31年度（平成31年4月入学）
 平成30年10月入学
 九州工業大学大学院情報工学府
 （博士後期課程）
 社会人特別選抜募集要項

1. 趣 旨

近年、企業における職業能力開発は、仕事を通じての訓練だけではなく、職場を一時的に離れて行う教育訓練が勤労者の職業生活の各段階に応じて段階的かつ体系的に行われつつある。

本学府では、社会に開かれた大学として、企業等の研究者・技術者の受け入れ、大学院レベルの修学の場を提供することにより、企業等の研究者・技術者の生涯職業能力の開発、あるいは継続研修、再教育に資し、以て社会の発展に寄与しようとするものである。

2. 募集人員

専攻名	第1次募集		第2次募集
	平成31年4月入学	平成30年10月入学	
情報工学	若干名	若干名	若干名

3. 出願資格

所属長の推薦を受けた企業等に在籍する研究者・技術者等で、大学等において、志望の専攻と関連系統の専門教育を受けた者、又は企業等で志望専攻の専門に関する経験を原則として1年以上有している者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 日本の修士の学位を有する者及び平成31年3月（ただし、平成30年10月入学志願者は、平成30年9月とする。以下の各号において同じ。）までに取得見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者及び平成31年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。）に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (7) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (9) 本学府において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学

力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成31年3月までに24歳に達する者

【注】 出願資格(7)から(9)によって出願する者は、19ページの「出願資格の審査申請について」を参照のこと。

4. 出願期日

<第1次募集> 平成30年 5月21日(月)～ 25日(金)

<第2次募集> 平成31年 1月21日(月)～ 25日(金)

第1次募集、第2次募集ともに、窓口受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

なお、郵送の場合は、本学所定の封筒(簡易書留)を用い、期日までに到着したものを受け付ける。

5. 出願手続

志願者は、次の書類等を一括取り揃え、所定の期日までに情報工学部大学院係に提出すること。

出願書類等	注意事項
① 入学願書	本学所定の用紙を用いて、太線内の必要事項を記入すること。
② 受験票、写真票	
③ 入学検定料(30,000円)	<p>ゆうちょ銀行の窓口、あるいはコンビニ端末で納付すること。</p> <p>ゆうちょ銀行の窓口で振り込む場合は、本学所定の入学検定料払込用紙により郵便局で振込のうえ、「検定料納入証明書」(受付局日付印が押されたもの。)を必ず受け取り、願書の裏面に貼付すること。</p> <p>コンビニ端末で振り込む場合は、「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内」を参照の上、支払い、取扱明細書または取扱明細書兼領収書の「収納証明書」部分を切り取り、願書の裏面に貼り付けること。</p> <p>ただし、本学大学院博士前期課程修了見込みの者で、引き続き博士後期課程に進学する者からは、入学検定料は徴収しない。</p>
④ 修士の学位取得(見込)証明書	<p>出身大学等の学長、研究科長等(大学以外は出身学校長)が作成したもの。</p> <p>ただし、出願資格(7)から(9)により出願する者は提出不要。</p>
⑤ 受験承諾書	現在の勤務先の所属長が作成したもの。(様式任意)
⑥ 成績証明書	<p>出身大学等の学長、研究科長等(大学以外は出身学校長)が作成し、厳封したもの。</p> <p>ただし、出願資格(7)から(9)により出願する者は提出不要。</p>
⑦ 研究(希望)計画書	本学府における研究(希望)計画(1000字程度)を記入すること。(様式については、別紙参照)
⑧ 修士論文及びその概要	<p>修士号取得者は修士論文及びその論文の内容を要約した概要(2000字程度)を提出すること。(様式については、別紙参照)</p> <p>ただし、出願資格(7)から(9)により出願する者は提出不要。</p>
⑨ 業績報告書	修士論文の他に研究論文を有する者のみが記入し、原則として別刷及び業績概要を添付のこと。(様式任意)
⑩ 業務報告書	今までに携わった研究・技術職について、その内容を詳しく記入すること。(様式任意)

⑪ 受験票送付用封筒	本学所定の封筒に、住所、氏名及び郵便番号を明記し、362円切手を貼付のこと。
⑫ 在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し	日本国内に居住する外国人志願者のみ提出すること。
⑬ あて名票	本学所定の用紙に記入すること。

6. 選抜方法、選抜日時・場所及び合格発表

<第1次募集>

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験の結果を総合して行う。ただし、平成31年4月入学者の選抜において、修士の学位を取得見込みの者には、第1次選考合格者が対象となる第2次選考を行う。

※ 修士の学位を取得見込みの者であっても、第2次選考を経ずに最終合格とすることがある。

(1) 第1次選考

1. 面接試験

受験承諾書、修士論文又はそれに代わる研究論文、研究（希望）計画書、業績報告書及び業務報告書に関して口述試験を行う。ただし、平成31年4月入学者の選抜において、修士の学位を取得見込みの者には、修士論文又はそれに代わる研究論文に関する口述試験は行わない。

2. 選抜日時

平成30年 7月8日（日） 午前9時～

3. 選抜場所

九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）

4. 第1次選考合格発表

平成30年 7月20日（金） 午前10時

本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

第2次選考を経ない最終合格者も同様とする。

(2) 第2次選考

1. 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文に関して口述試験を行う。

2. 選抜日時・場所

平成31年 2月12日（火）までの間に、九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）で行う。なお、詳細は、第1次選考合格者に別途通知する。

3. 第2次選考合格発表

平成31年 2月19日（火） 午前10時

本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

<第2次募集>

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験の結果を総合して行う。

1. 面接試験

受験承諾書、修士論文又はそれに代わる研究論文、研究（希望）計画書、業績報告書及び業務報告書に関して口述試験を行う。

2. 選抜日時

平成31年 2月12日（火） 午前9時～

3. 選抜場所

九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）

4. 合格発表

平成31年 2月19日（火） 午前10時

本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するとともに、

合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

- 【注】① 平成30年10月入学者の選抜では、第2次選考を行わない。
- ② 選抜日時及び選抜場所については、志願者に相談のうえ変更することがある。この場合は、後日連絡を行う。
- ③ 合格通知書等の人名漢字の表記について
氏名について、コンピュータで表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されるので、ご了承ください。
(例) 吉→吉 廣→廣 角→角

7. 入学手続き時に必要な経費

- (1) 入 学 金 282,000円
- (2) 授 業 料 267,900円 (前期分)
在学中に授業料改定が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用される。
- (3) 諸 納 金 学生教育研究災害傷害保険料等
- ※ 上記の入学金・授業料は平成30年度の金額であり、平成31年度のコレは未定である。入学希望者へは、入学手続書類を送付する際に確定額を通知する。

8. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、必ず受験票を携帯すること。
- (2) 出願手続き後の提出書類の記載事項の変更は認めない。
- (3) 既納の入学検定料は、還付しない。
- (4) 身体に障害があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に情報工学部大学院係に相談すること。
- (5) その他入学者選抜に関する照会は、情報工学部大学院宛に行うこと。

9. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

<http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

10. 不測の事態発生時における諸連絡について

災害時における不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については、本学のホームページ (<http://www.kyutech.ac.jp/>) 等により周知しますので、注意してください。

また、試験当日、公共交通機関に不測の事態が生じた場合は、情報工学部大学院係に連絡してください。

大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、大学院における社会人技術者、研究者の再教育への要望が高まっているが、通常の教育方法のみで大学院博士課程教育を実施した場合、社会人技術者、研究者は原則として最低3年間その勤務を離れて就学することが必要なため、大学院教育を受ける機会が制約されがちである。

このため、大学院設置基準第14条では「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人技術者、研究者の就学の特例措置を行うことができるよう配慮がなされている。

これらを踏まえて、本学大学院情報工学府博士後期課程情報工学専攻では、社会人技術者、研究者に対し大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施する。

教育方法の特例の概要は、次のとおりである。

- (1) 課程修了に必要な10単位のうち、特別講究（6単位）の一部を適宜特例により修得させる。また、課程修了に必要な特別講究以外の授業科目（4単位）については、授業担当教員の合意を得て、必要に応じて適宜特例により修得させる。
- (2) 特例の授業時間帯は、夜間の1時限（18時00分～19時30分）とする。
- (3) 勤務の都合上3年間で修了することが無理な場合は、指導教員の指導のもとに、あらかじめ5～6年間にわたる履修計画を立てさせ修得させる。
- (4) 指導教員が、学位論文の作成が計画どおり十分進展しており、かつ、勤務する企業等に研究に係る優れた施設や設備があり、それを利用の方が成果が上がると認める場合は、勤務する企業等においても研究することができる。
- (5) 勤務の都合から「特例」による履修計画に変更が生じた場合は、その都度申し出て許可を得るようにする。

平成 31 年度（平成 31 年 4 月入学）
平成 30 年 10 月入学
九州工業大学大学院情報工学府
（博士後期課程）
外国人留学生特別選抜募集要項

April 2019 Enrollment / October 2018 Enrollment
Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Doctoral Programs),
Kyushu Institute of Technology
Application Procedures for International Students

1. 募集人員 Number of Applicants Accepted

専攻名 Department	第1次募集 First Session		第2次募集 Second Session
	平成 31 年 4 月入学 April, 2019 Enrollment	平成 30 年 10 月入学 October, 2018 Enrollment	
情報工学 Computer Science and Systems Engineering	若干名 A few	若干名 A few	若干名 A few

2. 出願資格 Qualifications to apply

日本国籍を有しない者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当し、かつ(8)の条件を満たす者。

- (1) 外国において修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。）に相当する学位を授与された者及び平成31年3月（ただし、平成30年10月入学志願者は、平成30年9月とする。以下の各号において同じ。）までに授与される見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (5) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 本学において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成31年3月までに24歳に達する者
- (8) 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に取得可能な者

【注】① 日本の国籍を有しない者で、日本の修士の学位又は専門職学位を有する者（平成31年3月までに取得見込みの者を含む。）は、当該特別選抜の対象とはしない。

② 出願資格(5)から(7)によって出願する者は、19ページの「出願資格の審査申請について」

を参照のこと。

Applicant must be a non-Japanese citizen who meets one of the following requirements 1 - 7, in addition to requirement 8:

1. Has received or expects to receive a master's degree, professional degree, or their equivalent from an educational institution outside of Japan by March 2019.
*A professional degree is stipulated in Clause 5-2 of Degree Regulations (Ordinance No. 9 of the Ministry of Education of Japan issued in 1953), in accordance with the 1st clause of Article 104 of the School Education Act of Japan. This shall be applied to all the following requirements.
*Applicants applying for October 2018 enrollment must complete a master's degree, professional degree or their equivalent by September 2018. This shall be applied to all the following requirements.
2. Has successfully completed or expects to complete a master's or professional degree program or the equivalent in Japan through a correspondence course from an educational institution outside of Japan, and has received or expects to receive a master's degree, professional degree or their equivalent by March 2019.
3. Has successfully completed or expects to complete a master's or professional degree program or the equivalent and has received or expects to receive a master's degree, professional degree, or their equivalent by March 2019 at a non-Japanese educational institution in Japan which is recognized by his or her country, and designated by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology, as having a graduate level program.
4. Has successfully completed a course at United Nations University and received a degree equivalent to a master's degree, or expects to complete a program and receive such a degree by the end of March 2019.
5. Has engaged in at least two years of research at a university or a research institute after receiving a bachelor's degree from a Japanese university, and is recognized by this Institute as having accredited academic ability equal to or surpassing the level of a master's degree or professional degree holder based on their research accomplishments.
6. Has engaged in at least two years of research at a university or a research institute after completing sixteen years of education or the equivalent at an educational institution outside of Japan*, and is recognized by our Institute as having accredited academic ability equal to or surpassing the level of a master's degree or professional degree holder based on their research accomplishments.
*This includes completing a program in Japan through a correspondence course from an educational institution outside of Japan.
7. Has academic ability which has been assessed as equivalent to or surpassing the level of a master's degree or professional degree holder by individual screening of admission qualifications, and is over 24 years old or will be 24 years old by March 2019.
8. Has obtained a Student (ryugaku) Visa as stipulated by the Emigration and Immigration Management and Refugee Recognition Law of Japan, or can obtain a student visa in Japan upon the admission to the Japanese Graduate School.

*Note 1. Non-Japanese citizens who have received or expect to receive a master's degree or professional degree from a Japanese educational institution by March 2019 are not eligible for this category.

*Note 2. Individuals who wish to apply under the aforementioned qualification requirements 5 to 7 should read "Examination Application for Applicant Eligibility" and contact this graduate school in advance.

3. 出願期日 Application Period

<第1次募集> 平成30年 5月21日(月) ~ 25日(金)

<第2次募集> 平成31年 1月21日(月) ~ 25日(金)

第1次募集, 第2次募集ともに, 窓口受付時間は, 午前9時から午後4時までとする。

なお, 郵送の場合は, 本学所定の封筒(簡易書留)を用い, 期日までに到着したものを受け付ける。

First Session : May 21 (Mon) - May 25 (Fri), 2018

Second Session : January 21 (Mon) - January 25 (Fri), 2019

Office hours are from 9 AM to 4 PM on weekdays for both sessions.

Individuals who wish to send the application by mail should use the envelope included in this application packet and send by registered mail. The application must arrive before the deadline.

4. 出願手続 Application Procedures

志願者は, 次の書類等を一括取り揃え, 所定の期日までに情報工学部大学院係に提出すること。

Applicants should submit all of the following documents to the Administrative Office of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering, and ensure that they arrive before the deadline.

出願書類等 Required Documents	注意事項 Notes
① 入学願書 Application Form	<p>本学所定の用紙を用いて, 太線内の必要事項を記入すること。 Fill out all required information on the enclosed application form, especially the bold-framed boxes.</p>
② 受験票, 写真票 Examination Card, Photograph Sheet	
③ 入学検定料 (30,000 円) Entrance Examination Fee (JPY 30,000)	<p>ゆうちょ銀行の窓口, あるいはコンビニ端末で納付すること。 ゆうちょ銀行の窓口で振り込む場合は, 本学所定の入学検定料払込用紙により郵便局で振込のうえ, 「検定料納入証明書」(受付局日付印が押されたもの。)を必ず受け取り, 願書の裏面に貼付すること。 コンビニ端末で振り込む場合は, 「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内」を参照の上, 支払い, 取扱明細書または取扱明細書兼領収書の「収納証明書」部分を切り取り, 願書の裏面に貼り付けること。 クレジットカードで支払う場合は, (※海外在住の志願者に限る。)インターネット決済サイト (http://e-apply.jp/e/kyutech/) から, クレジットカード (VISA・MasterCard・MUFG・DC・UFJ・NICOS)・中国銀聯網決済により払込みのうえ, プリントアウトした「支払完了通知」を出願書類と共に提出してください。 ただし, 日本政府(文部科学省)国費留学生からは, 入学検定料は徴収しない。 Pay fee at a post office in Japan (Japan Post) using the enclosed Entrance Examination Fee Payment Form and paste the “Examination Fee Receipt” (with an official stamp of the receipt date) on the backside of the application form. For payment with a credit card: ※Limited to applicants residing abroad. Please pay with a credit card (VISA, MasterCard, MUFG, DC, UFJ or NICOS) from the Internet settlement site (http://e-apply.jp/e/kyutech/) or by Internet payment of China UnionPay settlement, print out “Payment Completion Notice”, and submit it together with application documents. *Exception: International students sponsored by the Japanese government (the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology) are exempted from paying the entrance examination fee.</p>

④ 修士の学位取得（見込）証明書 Certificate of Master's Degree(or Certificate of Expected Master's Degree)	出身大学等が作成したもの。 ただし、出願資格(5)から(7)により出願する者は提出不要。 Issued by the educational institution attended. *Exception: individuals who qualify for admission qualifications 5 to 7 are exempted from submission.
⑤ 成績証明書 Transcripts	
⑥ 研究（希望）計画書 Research Plan	本学府における研究（希望）計画（1000字程度）を記入すること。 （様式については、別紙参照） Submit a research plan for the doctoral course. *Refer to the enclosed form.
⑦ 修士論文及びその概要 Master's thesis and abstract	修士号取得者は修士論文及びその論文の内容を要約した概要（2000字程度）を提出すること。（様式については、別紙参照） 修士号取得見込者及び修士論文未作成の者は、これに代えて研究内容の分かるものを提出すること。 ただし、出願資格(5)から(7)により出願する者は提出不要。（様式については、別紙参照） Individuals who have received a master's degree are required to submit their master's thesis as well as an abstract. *Refer to the enclosed form. *Exception: individuals who have not yet received a master's degree are exempted from submission. *Individuals who expect to receive the master's degree or who have not written master's thesis are required to submit the subject matter report, research achievement report or the progress report on their study etc. of an equivalent to the thesis. The format is up to applicants. *Exception: individuals who qualify for admission qualifications 5 to 7 are exempted from submission.
⑧ 公表論文等の業績リスト List of academic achievements (Published papers etc.)	可能な限り、別刷を添付すること。（様式任意） Attach offprint as many as possible. *Format is up to applicant.
⑨ 受験票送付用封筒 Self-addressed, stamped envelope to receive the Examination Card	本学所定の封筒に、住所、氏名及び郵便番号を明記し、362円切手を貼付のこと。 Indicate address, name, and zip code on the enclosed envelope, and place a JPY 362 stamp on the envelope.
⑩ 在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し A copy of Residence Card, Special Permanent Resident Certificate, or Certificate of Residence	日本国内に居住する外国人志願者のみ提出すること。ただし、日本国外に居住する外国人志願者はパスポートの写しを提出すること。 Only non-Japanese applicants who reside in Japan need to submit this. *Exception: Non-Japanese applicants who reside outside of Japan need to submit a copy of the passport.
⑪ あて名票 Address Sticker	本学所定の用紙に記入すること。 Fill out the enclosed form.

5. 選抜方法、選抜日時・場所及び合格発表

Selection Procedure, Examination Date & Venue, and Announcement of Successful Applicants <第1次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。ただし、平成31年4月入学者の選抜において、修士の学位を取得見込みの者には、第1次選考合格者が対象となる第2次選考を行う。

※ 修士の学位を取得見込みの者であっても、第2次選考を経ずに最終合格とすることがある。

(1) 第1次選考

1. 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文，博士後期課程入学後の研究計画，専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。ただし，平成31年4月入学者の選抜において，修士の学位を取得見込みの者には，修士論文又はそれに代わる研究論文に関する口述試験は行わない。

2. 選抜日時

平成30年 7月8日（日）午前9時～

3. 選抜場所

九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）

4. 第1次選考合格発表

平成30年 7月20日（金）午前10時

本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するとともに，合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

第2次選考を経ない最終合格者も同様とする。

(2) 第2次選考

1. 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文に関して口述試験を行う。

2. 選抜日時・場所

平成31年 2月12日（火）までの間に，九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）で行う。なお，詳細は，第1次選考合格者に別途通知する。

3. 第2次選考合格発表

平成31年 2月19日（火）午前10時

本学ホームページ（<http://www.kyutech.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するとともに，合格者には合格通知書を送付する。電話等による可否の問合せには応じない。

[First Session]

Successful applicants are selected through a comprehensive evaluation based on an interview examination and submitted documents. However, individuals applying for April 2019 enrollment who are expected to receive a master's degree by March 2019 are required to partake in a second screening for the successful applicants of first screening as well.

*In some cases, even those who are expected to receive a master's degree are not required to partake in the second screening.

First Screening

1. Interview Examination

Applicants will be evaluated by an interview based on the submitted master's thesis or equivalent research paper, research plan after being admitted into the doctoral course, academic ability in their field, and transcripts. However, individuals applying for April 2019 enrollment who have not yet received their master's degree will not be asked an interview regarding their master's thesis or equivalent research paper.

2. Examination Date and Time

July 8 (Sun), 2018 [9:00AM-]

3. Examination Venue

Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus),
Kyushu Institute of Technology

4. Announcement of Successful Applicants of the first screening

Date and Time: July 20 (Fri), 2018[10:00 AM]

Successful applicants of the first screening will be notified by mail. In addition, a list of successful applicants by examination card number will be displayed on the university website (<http://www.kyutech.ac.jp/>). Results cannot be given by phone, fax, or email.

It is similar for the successful applicants of the first screening who are not required to partake in the second screening.

Second Screening

1. Interview Examination
Applicants will be evaluated by an interview based on their master's thesis or equivalent research paper.
2. Examination Date and Venue
Examination Date: no later than February 12 (Tue), 2019
Venue: Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus), Kyushu Institute of Technology.
3. Announcement of Successful Applicants of the second screening
Date and Time: February 19 (Tue), 2019[10:00 AM]
Successful applicants of the second screening will be notified by mail. In addition, a list of successful applicants by examination card number will be displayed on the university website (<http://www.kyutech.ac.jp/>). Results cannot be given by phone, fax, or email.

<第2次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

1. 面接試験
修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。
2. 選抜日時
平成31年 2月12日(火) 午前9時～
3. 選抜場所
九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)
4. 合格発表
平成31年 2月19日(火) 午前10時
本学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。電話等による合否の問合せには応じない。

[Second Session]

Successful applicants are selected through a comprehensive evaluation based on an interview examination and the submitted documents.

1. Interview Examination
Applicants will be evaluated by an interview based on their submitted master's thesis or equivalent research paper, research plan after being admitted into the doctoral course, academic ability in their field, and transcripts.
2. Examination Date and Time
February 12 (Tue), 2019 [9:00AM]
3. Examination Venue
Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus), Kyushu Institute of Technology
4. Announcement of Successful Applicants
Date and Time: February 19 (Tue), 2019 [10:00 AM]
Successful applicants will be notified by mail. In addition, a list of successful applicants by examination card number will be displayed on the university website (<http://www.kyutech.ac.jp/>). Results cannot be given by phone, fax, or email.

【注】① 平成30年10月入学者の選抜では、第2次選考を行わない。

- ② 選抜日時及び選抜場所については、志願者に相談のうえ変更することがある。この場合は、後日連絡を行う。
- ③ 面接試験は、インターネットを利用して実施することがある。

[Note]

1. The second screening is not required of applicants applying for October 2018 enrollment.
2. If the need arises to change the date and venue of the interview examination, applicant will be contacted, and the new date/venue will be determined upon consultation with applicant.
3. The interview examination may be given over the Internet.

6. 入学手続き時に必要な経費 Admission Fees

- (1) 入 学 金 282,000円
- (2) 授 業 料 267,900円 (前期分)
在学中に授業料改定が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用される。
- (3) 諸 納 金 学生教育研究災害傷害保険料等
※ 上記の入学金・授業料は平成30年度の金額であり、平成31年度のコリ額は未定である。入学希望者へは、入学手続書類を送付する際に確定額を通知する。

1. Entrance Fee: JPY 282,000
2. Tuition Fee: JPY 267,900 (First term: 6 months)
In the event that the tuition fee is revised while the student is enrolled at this university, the new tuition fee will be applied from the time of revision.
3. Others: Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research
***Aforementioned entrance and tuition fees apply to the 2018 academic year, the fees for 2019 have not yet been determined. Applicants will be informed of the finalized amount in their admission procedure documents.**

7. 注 意 事 項 Notes

- (1) 受験の際は、必ず受験票を携帯すること。
 - (2) 出願手続き後の提出書類の記載事項の変更は認めない。
 - (3) 既納の入学検定料は、還付しない。
 - (4) 身体に障害があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に情報工学部大学院係に相談すること。
 - (5) その他入学者選抜に関する照会は、情報工学部大学院係宛に行うこと。
1. Applicants must have their examination card in order to take the examination.
 2. No revisions may be made to documents once they have been submitted.
 3. The entrance examination fee is non-refundable.
 4. Applicants who have a handicap and need special care during the examination or in class, should consult the Administrative Office of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering.
 5. For any further inquiries regarding admission, please contact the Administrative Office of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering.

8. 安全保障輸出管理について Security Export Control

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

We have established the Security Export Control Regulations in Kyushu Institute of Technology based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan, and rigorously screen potential international students on the basis of these regulations.

International applicants who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

Access the following website for more details:

<http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

<http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html>

9. 不測の事態発生時における諸連絡について

Emergency contact in the event of unforeseen circumstances

災害時における不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については、本学のホームページ (<http://www.kyutech.ac.jp/>) 等により周知しますので、注意してください。

また、試験当日、公共交通機関に不測の事態が生じた場合は、情報工学部大学院係に連絡してください。

If the entrance exam cannot be administered as scheduled due to unforeseen circumstances during a disaster, cancellations or changes in date and/or venue will be displayed on the university website (<http://www.kyutech.ac.jp/>).

In the event of an unforeseen circumstance in respect to public transportation on the day of the examination, please contact the Administrative Office of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering.

出願資格の審査申請について

「一般選抜」及び「社会人特別選抜」の出願資格(7)から(9)まで、「外国人留学生特別選抜」の出願資格(5)から(7)により出願する者は、必ず事前に情報工学部大学院係へ問い合わせのうえ、次の書類を平成30年4月27日(金)(第2次募集は、平成31年1月4日(金))までに提出すること。

審査の結果は、平成30年5月16日(水)(第2次募集は、平成31年1月11日(金))までに本人宛に発送する。

- ① 出願資格判定申請書 (別紙様式①)
- ② 出願資格判定調書 (別紙様式②)
- ③ 研究実績 (別紙様式③)
- ④ 研究歴証明書 (別紙様式④)
- ⑤ 大学又は外国の学校等の卒業証明書及び成績証明書

長期履修制度について

1. 制度趣旨について

情報工学府では、学生が職業を有していることにより、学修時間の制約を受け、標準修業年数(3年)で履修が困難な場合、申請に基づき6年を限度として計画的な履修を認めることができる。

計画的な履修を申請し、履修許可を受けた場合、標準修業年数分の授業料で修了することができる。

2. 長期履修期間について

長期履修期間は最大6年を限度として、次のとおり年単位で取り扱う。

- (1) 入学時からの申請：標準修業年数3年のところ、4年から6年までの申請が可能。
- (2) 1年又は2年終了時での申請：長期履修前の期間を含め、6年まで申請可能。

3. 授業料の取扱いについて

長期履修が許可された場合の授業料については、原則として、次により算出された金額を、支払う。

・定められた授業料の年額 × 標準修業年数 ÷ 長期履修を許可された年数

在学中に授業料の改正が行われた場合には、再計算され、改正時からの新授業料が適用される。

なお、長期履修終了後も引き続き3年間は在籍することができますが、その場合、一般の学生と同額の授業料が徴収される。

【授業料の徴収方法の例】金額は、平成30年度を基に計算しているため、在学時に変更される場合がある。

(1)長期履修制度を利用しない場合

	1年目	2年目	3年目	—	修了までに要する総額
年 額	535,800円	535,800円	535,800円	—	1,607,400円

(2)入学年次に長期履修(6年)を申請した場合

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	修了までに要する総額
年 額	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円	1,607,400円

(3)入学年次に長期履修(6年)を申請したが、1年終了時に3年に短縮した場合

	1年目	2年目	3年目	—	修了までに要する総額
年 額	267,900円	535,800円	535,800円	—	1,607,400円
差 額	267,900円	←変更許可時に徴収			

4. その他

相応の理由があると認められる場合、規定に基づき、長期履修期間の変更(延長・短縮)ができる。

奨学金	九州工業大学 基金事業（奨学事 業）	留学生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある博士後期課程の留学生を対象に、経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】基本額 30,000 円/月 年間 20 名程度 *他の奨学金を受給している場合は、その差額分を本奨学金として支給する
学会参加旅費等	各教育プログラム による経済支援	全学生	本学独自の教育プログラムのうち、補助金、国や地方公共団体からの支援、民間企業等外部の団体からの支援、大学独自の支援等により、教材費、国内外への旅費、その他の経済支援を行っているものが多数あります。
	学会発表等に関する奨学金	全学生	国外で開催される国際的な学術研究機関、団体が主催する学会又は研究会等で研究成果の発表等を行う際の費用の一部を支援することにより、国際感覚の涵養及び修学・研究意欲の向上を図る。 【奨学金】一人一回につき 30,000 円～ 100,000 円。*地域により異なる。 在学中に 3 回まで。
雇用制度	日本学術振興会特別研究員	博士後期課程学生	日本学術振興会による、優れた若手研究者に研究に専念する機会を与えることによって我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者に研究奨励金を支援する制度です。 特別研究員 DC1（博士課程後期第 1 年次在學生） 200,000 円/月 DC2（博士課程後期第 2 年次以上在學生） 200,000 円/月
	リサーチ・アシスタント（RA）	博士後期課程学生	教育的配慮の下に、研究補助者として本学が行う研究プロジェクト等に参画させ、これに対する給与を支給して経済的支援を行う制度で、勤務 1 日当たり 6,000 円、月額 60,000 円を支給します。 ※但し、国費留学生又はそれに準じる学生、修業年限を越えて在籍するオーバードクター、日本学術振興会特別研究員は除きます。
	ティーチング・アシスタント（TA）	全学生	教育的配慮の下に教育補助業務に従事させ、これに対する給与を支給して経済支援を行う制度です。
住居	スチューデント・レジデンス	全学生	日本人学生と外国人留学生との混住寮で、1 棟 20 戸、1 戸あたり 3 部屋となっており、各戸にはキッチン、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テーブル、エアコン等を備え、各部屋にはベッド、机、クローゼット、照明器具、エアコン等を備えています。 入居期間は原則として 1 年間です。（申請により延長することも可能です） ・寄宿料（月額）15,000 円（食費・生活費等は含まない）※留学生は 7,000 円減免されることがあります。 ・光熱水料（月額）約 5,000 円～ 10,000 円程度
	国際交流会館	留学生	外国人留学生や外国人研究者の居住施設で、各部屋にはキッチン、冷蔵庫、ベッドやその他の家具・調度品を備え、他に共通施設として研修室、談話ホール、洗濯室等があります。 入居期間は原則として 6 ヶ月以内です。 ・寄宿料（月額）単身室 5,900 円、夫婦室 9,500 円、家族室 14,200 円（食費・生活費等は含まない） ・光熱水料（月額）約 5,000 円～ 10,000 円

九州工業大学大学院情報工学府の概要

1. 情報工学府の構成

課程	専攻	専門分野	基礎となる学部の専門学科群 ／博士前期課程の専門分野群
博士前期	先端情報工学 Advanced Informatics	知能情報工学 Artificial Intelligence	知能情報工学科
		電子情報工学 Computer Science and Electronics	電子情報工学科
	学際情報工学 Interdisciplinary Informatics	システム創成情報工学 Systems Design and Informatics	システム創成情報工学科
		機械情報工学 Mechanical Information Science and Technology	機械情報工学科
		生命情報工学 Bioscience and Bioinformatics	生命情報工学科
	情報創成工学 Creative Informatics	情報創成工学 Creative Informatics	
博士後期	情報工学 Computer Science and Systems Engineering	知能情報工学 Artificial Intelligence	知能情報工学専門分野
		電子情報工学 Computer Science and Electronics	電子情報工学専門分野
		システム創成情報工学 Systems Design and Informatics	システム創成情報工学専門分野
		機械情報工学 Mechanical Information Science and Technology	機械情報工学専門分野
		生命情報工学 Bioscience and Bioinformatics	生命情報工学専門分野
		情報創成工学 Creative Informatics	情報創成工学専門分野

2. 情報工学府の概要

コンピュータと情報システムを基盤とし、さまざまな産業分野や人間生活に資する高度な技術開発や創造性豊かな研究に携わる人材を養成する。

- ① 博士前期課程では、情報科学・工学の知識を基礎とし、問題を発見し解決する能力及び論理的なコミュニケーション能力を身に付けた上で、各専門分野で活躍できる能力を有する人材を養成する。
- ② 博士後期課程では、博士前期課程の素養と能力に加え、実践的な研究開発の経験に基づき、深い専門知識と高い志をもって自立して活躍できる能力を有する人材を養成する。

3. 情報工学府の各専攻の概要

(1) (博士前期課程) 先端情報工学専攻

情報システムの基盤となるソフトウェア・ハードウェア、ネットワークの知識を修得し、コアコンピュータサイエンスやICT技術を含めた情報科学・情報工学の基盤となるシステムやその要素技術の高度化をもたらす先端的な開発を行うことのできる人材を養成する。

コンピュータサイエンスや情報システム開発などの教育研究を行う「知能情報工学専門分野」、エレクトロニクス、コンピュータ・LSIや情報通信ネットワークなどの教育研究を行う「電子情報工学専門分野」の2専門分野で構成する。

(2) (博士前期課程) 学際情報工学専攻

I C T技術を応用したシステム創造のための知識・技術，デジタルエンジニアリングやロボティクス，生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの対象応用分野の高度な知識・技術を修得し，情報科学・情報工学の基盤的成果に活用・展開して，新たな学際領域を開拓する人材を養成する。

I C T技術を応用したシステム創造のための教育研究などを行う「システム創成情報工学専門分野」，デジタルエンジニアリングやロボティクスなどの教育研究を行う「機械情報工学専門分野」，生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの教育研究を行う「生命情報工学専門分野」の3専門分野で構成する。

(3) (博士前期課程) 情報創成工学専攻

社会情勢の変化により産業界で発生したさまざまな問題から課題を拾い上げ，最新の情報技術を原動力に，実務的な解決・実現を図る道筋作りのための知識を修得し，社会のニーズに基づく産学連携を推進して，情報技術で社会を駆動していく姿勢を身に付けた人材を養成する。

情報工学部の5つの学科に対応する5専門分野にまたがる教授陣で構成する。

(4) (博士後期課程) 情報工学専攻

情報科学・情報工学の高い専門性に基づいて，情報技術の発展に有用な先端的な基盤技術を開発したり，いろいろな分野の科学技術との融合により実在する種々の課題に対処できる革新的な情報システムを構築したり，更にIT技術の将来を先取りし社会の仕組みまでを変革するグローバルリーダーとなり得るような，最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる姿勢を身につけた人材を養成する。

従来の専攻や狭い研究分野の壁を越えた融合型の専攻であり，博士前期課程の3専攻6専門分野で構成する。

教育研究分野及び授業科目

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
知 能 情 報 工 学	知能数理学	アルゴリズム構築の観点から、人工知能における諸問題の解決を目指す教育研究を行う。特に、大規模半構造データ、テキストデータからのパターン発見問題に対する有効なデータ構造およびアルゴリズムの構築についての理論を確立することを目標とする。そして、その理論の応用として、実問題への適用を目指す教育研究を行う。 (web mining, database, XML, index)	情報数学特論 Advanced Course in Information Mathematics	坂本 比呂志 教授 SAKAMOTO Hiroshi
		制御システムの設計理論に関する教育研究を行う。特に、信頼性などを考慮したシステムの設計や、自律分散システムに対する考察、定式化を行う。また、制御システムと人間の協調についても研究する。 (Control Theory)	ロバスト制御特論 Introduction to Robust Control Theory	瀬部 昇 教授 SEBE Noboru
		計算論理学と知識処理に関する教育研究を行う。特に、さまざまな論理体系における高次推論処理、計算学習理論、知識の獲得と発見、およびデータマイニングに関する教育研究を行う。 (data mining, computational logic, inductive logic programming, data mining in time series, data mining in medicine, graph algorithm)	人工知能特論 Advanced Course in Artificial Intelligence 論理と証明特論 Advanced Logic and Proof	平田 耕一 教授 HIRATA Kouichi
		機械学習の基礎理論とその応用、形式言語や論理プログラムを対象とした学習アルゴリズムの開発・性能評価及びその応用可能性に関する教育研究を行う。 (machine learning, computational learning theory)	オートマトンと言語特論 Automaton and Language Theory	※ 石坂 裕毅 准教授 ISHIZAKA Hiroki
		計算量理論に基づく問題の困難性の解析と、効率のよいアルゴリズムの設計に関する教育研究を行う。 特に計算が困難な組合せ最適化問題とその近似解法を中心に研究する。 (computational complexity theory, combinatorial optimization, approximation algorithms)	計算量理論特論 Advanced Course on Computational Complexity	※ 下園 真一 准教授 SHIMOZONO Shinichi
	計算機科学に関連する数理とその応用について、教育研究を行う。 特に離散系を中心に研究する。 (computer algebra, discrete system)		※ 乃美 正哉 講師 NOHMI Masaya	
知能情報 アーキテクチャ	プログラミング言語の設計と実装ならびに並列処理を中心とした計算基盤に関する教育研究を行う。特に、使い易さ、信頼性、実行性能、容量、エネルギー効率等を重視し、多様化、複雑化、並列化が進む計算基盤を効率よく簡単・安全に利用可能とするため教育研究を行う。 (programming languages, parallel processing)	プログラミング言語と処理系特論 I Programming Languages and Systems I	八杉 昌宏 教授 YASUGI Masahiro	
	多種目的に応じたプログラミング基盤、すなわちプログラミング言語及び処理系の設計・実装とプログラミング手法に関する教育研究を行う。特に、簡便なプログラム記述を提供する言語設計、プログラムの正しさの保証技術、実行性能向上のための並列化・分散化・最適化等に注目し、計算機の多様化・複雑化を吸収し効率的なプログラミングを可能とする技術に関する研究教育を行う。 (programming languages, parallel and distributed programming)	プログラミング言語と処理系特論 II Programming Languages and Systems II	※ 江本 健斗 准教授 EMOTO Kento	

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
知 能 情 報 工 学	知能情報 メディア	動画処理技術に関して教育・研究を行う。 一般的な画像処理技術に加え、動画処理なら ではとなる物体追跡用フィルタリング技術、オ プティカルフロー推定技術、運動視による形状 復元 (Shape-from-Motion) 等の理論的分野を 主体に教育・研究を行う。 (Pattern Recognition, Image Processing, Image Analysis)	動画処理特論 Video Image Processing パターン理解特論 Advanced Course in Pattern Understanding 認識プログラミング総合実習 I Recognition programming I	榎田 修一 教授 ENOKIDA Shuichi
		コンピュータビジョンを中心に、広義の画像処理 (パターン認識、コンピュータグラフィックス、狭 義の画像処理を含む) に関する教育研究を行う。 特に、写実的画像生成のための実物体・実シー ンのモデリングなどの人に見せるための技術、人物 の認識・センシングなどの人を見るための技術、 および、高自由度照明の制御と画像処理を融合し たコンピュータショナルイルミネーションに関する 研究を行う。 (Computer Vision, Pattern Recognition, Computer Graphics, Image Processing)	コンピュータビジョン特論 I Advanced Course in Computer Vision I コンピュータビジョン特論 II Advanced Course in Computer Vision II	岡部 孝弘 教授 OKABE Takahiro
		画像や音声など種々のメディアによる表現方 法について講義する。まず、ビデオ静止画像、 ビデオ動画、コンピュータ・グラフィックス、 コンピュータ・アニメーション、音声出力など 個々のメディア表現について、その特徴と用法 を扱い、さらに、仮想現実システムや擬人化エ ージェントなど、複数のメディアが統合化された マルチメディア表現の設計・実現法を扱う。また、 これらのマルチメディアシステムの評価方法に ついては教育研究を行う。 (Multimedia, Computer Graphics, Computer Animation)	マルチメディア工学特論 Advanced Multimedia Engineering コンピュータグラフィックス特論 I Advanced Computer Graphics I	乃万 司 教授 NOMA Tsukasa
		自然言語処理を基盤として、音声理解や画像 処理などを統合したマルチモーダル情報解釈に 関する教育研究を行う。Web を対象とした情報 抽出・要約など応用的な言語処理やロボットや 人間同士の対話の理解に関する研究を行う。 (Natural Language Processing, Speech Understanding, Computer Vision, Multimodal Interpretation)	言語処理工学特論 Advanced Natural Language Processing 自然言語処理特論 Natural Language Processing Technology	※ 嶋田 和孝 准教授 SHIMADA Kazutaka
		自然言語処理の基礎技術に関する教育研究を 行う。 具体的には、自然言語の形態素解析・構文解 析アルゴリズムの研究、及び大規模な語彙知識 データを利用した意味解析・理解に関して研究 する。 (Natural Language Processing, Game Informatics)	算法表現特論 Algorithm Expression	中村 貞吾 准教授 NAKAMURA Teigo
		超伝導体における臨界電流密度の決定要因、 および量子化磁束とピンニングによる電磁現象 の測定解析、また超伝導材料を利用した応用分 野、たとえば超伝導マグネットや超伝導トラン ス、超伝導電力ケーブルの開発、さらに超伝導 マグネットの磁場を利用した磁気科学の教育・ 研究を行う。 (Superconducting Engineering, Superconducting Material Properties, Strong Magnetic Field Effect, Power Cable, Network, Concurrent Processing)	応用超伝導特論 Advanced Applied Superconductivity	小田部 荘司 教授 OTABE Edmund Soji
電子情報工学	エレクト ロニクス			

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
電 子 情 報 工 学	エレクトロニクス	半導体を代表とする電子材料工学に関する教育研究を行う。特に、電子材料の物性を理解するとともに、新材料開発に必要とされる結晶成長技術および材料評価技術について教育・研究する。また、先端電子機器の動作原理を理解し、今後の電子情報工学に必要とされる研究・開発要素についてディベート形式で議論する。 (Electronic Materials Engineering, Crystal Growth Technique, Evaluation of Physical Properties of Electronic materials, Electronics and Information Engineering)	電子材料工学特論 Advanced electronic material engineering	寺井 慶和 教授 TERAI Yoshikazu
		シリサイド半導体を中心とした光通信用の新しい半導体、磁性体ナノ材料、炭素系などメソスコピック・低次元系材料(グラフィン、フラーレン系など)の形成、およびその光物性、イオン散乱による結晶評価、フォトリソグラフィ、スピントロニクスへの応用について教育・研究を行う。 (Semiconducting silicides for optical telecommunication, Magnetic nanomaterials, Carbon nanostructures, Mesoscopic and low dimensional structures, Optical properties, Structural analysis using Ion beam scattering Photonics, Spintronics)	ナノデバイス科学特論 Advanced science for nanodevices	前田 佳均 教授 MAEDA Yoshihito
		機能性材料の成膜、物性評価および応用に関する教育と研究を行う。具体的には、酸化半導体の電子・光学物性の制御とともに、ゾルゲル法等の化学的プロセスを活用した薄膜のナノ構造制御を行う。さらに、光電変換素子、構造色顔料、エレクトロクロミック素子等への応用に関する教育と研究を行う。 (Functional Materials, Oxide semiconductors, Sol-gel process, Nanostructure, Photovoltaics, Electrochromism)	機能性材料特論 Technology for Functional Materials	安田 敬 教授 YASUDA Takashi
		超伝導体の臨界電流密度特性の評価及び決定機構の解明に関する教育研究を行う。具体的には電気磁気学と電子物性論に基づく材料評価に関する教育研究、更にこの材料を用いた超伝導応用に関する教育研究も行う。 (Critical current properties, High-temperature superconductor, Applied Superconductivity, Flux pinning mechanism)	超電導工学特論 Introduction to Applied Superconductivity	※ 木内 勝 准教授 KIUCHI Masaru
		有機エレクトロニクスに関する教育研究を行う。特に有機半導体分子の分子配向・結晶成長の制御を行う実験を主体に、発光素子・トランジスタ・センサーなどの有機半導体を用いた情報通信素子の高性能化について教育・研究する。 (Applied physics, Electronic devices, Organic semiconductors, Organic chemistry, Organic light-emitting diodes, Organic transistors, Organic photovoltaics)	有機エレクトロニクス特論 Advanced Organic Electronics	※ 永松 秀一 准教授 NAGAMATSU Shuichi
		磁性体の工学応用に関する教育研究を行う。特に、情報処理の性能をハード面から向上させるために、磁気メモリやスピントロニクス技術を用いた機能性素子について教育・研究する。 (Hard Disk Drive, Spintronics, Magnetoresistance, Spin Current, Magnetic Cellular Automaton, Magnetic Random Access Memory)	磁気記録工学特論 Advanced Magnetic Recording Technology	※ 福岡 康裕 准教授 FUKUMA Yasuhiro

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
電 子 情 報 工 学	コンピュータ・LSI	次世代並列分散処理のための計算モデル、アルゴリズム、及び、計算可能性に関する教育と研究を行う。特に、クラスタ処理を用いた並列処理におけるアルゴリズムや、自然界のシステムを計算に用いるナチュラルコンピューティングにおける計算手法に焦点をあてる。 (Parallel and Distributed Computing, Cluster Computing, Natural Computing)	計算機システム特論Ⅱ Advanced Computer Systems II	藤原 暁宏 教授 FUJIWARA Akihiro
		コンピュータを用いた測定システムの開発に関する教育研究を行う。具体的には、イメージセンサーなどを用いてレーザーを照射した生体の画像をコンピュータに取り込み、その画像より血流情報を解析し表示を行うといった、計測方法の基礎研究から測定装置の製作までのシステム開発などを行う。 (Applied Physics, Medical Engineering)	情報回路特論 Analog Information Processing Circuits	※ 小西 直樹 准教授 KONISHI Naoki
	ネットワーク・システム	デジタル変復調・デジタル信号処理に関する教育研究を行う。特に、音声／音響／画像処理のための信号処理アルゴリズムの理論的研究、デジタル通信システムの信号処理的立場からの理論構築並びに通信用システム LSI の設計などの研究を行う。 (Wireless Communication System, Digital Signal Processing System and those VLSI Design)	デジタル信号処理特論 Advanced Digital Signal Processing	尾知 博 教授 OCHI Hiroshi
		情報通信を支える「ネットワーク管理」技術の基本的枠組みと、その中でネットワーク特性の計測、統計的推定の技法や背景にある数理的な手法・理論について教育研究を行う。特に、インターネットのような広域網を想定する。 (Computer Network, Network Measurement, Performance Monitoring, Network Tomography, Anomaly Detection, Resource Sharing)	ネットワークマネジメント特論 Advanced Network Management	鶴 正人 教授 TSURU Masato
	進化計算、ニューラルネットワーク、ファジィシステムを代表的な手法とした問題解決の枠組みであるソフトコンピューティングと、そのネットワークシステムへの応用に関する教育研究を行う。さらに生物にヒントを得た手法に関する教育研究も行う。 (soft computing, bio-inspired algorithm, evolutionary computation)	ソフトコンピューティング特論 Soft Computing	※ 大西 圭 准教授 OHNISHI Kei	
	情報通信システムの設計に関する通信トラヒック理論を基礎として、マルチメディアネットワークにおけるサービスの品質 (QoS) 保証、ネットワーク性能計測、トラヒックエンジニアリング (TE)、オンラインシミュレーションの評価、実験、実装に関する教育研究を行う。 (Computer Network, Sensor Network, Green ICT)	ネットワークデザイン特論 Advanced Lecture on Network Design	川原 憲治 准教授 KAWAHARA Kenji	
	ハードウェア及びソフトウェアの協調設計に関する教育研究を行う。特に画像伝送システムを主体に、信号処理システムおよび通信システムの解析や協調設計法について教育・研究する。また、システムにおけるハードウェア及びソフトウェアの最適化に関する教育研究も行う。 (Hardware/Software Co-Design, Image Transmission System, Wireless Transmission System, Digital Signal Processing)	ハードウェア・ソフトウェア協調設計特論 Advanced Hardware / Software Co-Design	※ 黒崎 正行 准教授 KUROSAKI Masayuki	

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
電 子 情 報 工 学	ネットワーク・システム	<p>情報通信システム、特にスマートフォン、センサ、車両などによって構成される、アドホックネットワークを含む多種多様な無線モバイルネットワーク上でのサービス提供のために必要なシステム、及び通信プロトコルに焦点を当て、その性能評価のためのシミュレーション・実験に関する教育と研究を行う。 (Computer Network, Mobile Network, Wireless Network, Mobility Management, Cognitive Radio)</p>	<p>無線モバイルネットワーク特論 Advanced Lecture on Wireless Mobile Networks</p>	<p>※ 塚本 和也 准教授 TSUKAMOTO Kazuya</p>
	マイクロ化 総合技術 センター	<p>半導体センサと MEMS を融合したバイオデバイスの教育・研究を行う。特に血液や DNA など微量サンプルを対象としたバイオ・医療・薬学向け検査用デバイス分野を主体に、半導体を用いたセンサデバイスと MEMS を用いたマイクロ流体デバイスの融合プロセス技術について教育・研究を行う。 (MicroTAS, Microfluidics, Labo-on-chip, MEMS, Biodevices, Biosensors, Medical Applications)</p>	<p>バイオデバイス特論 Advanced course on Biodevices</p>	<p>※ 坂本 憲児 准教授 SAKAMOTO Kenji</p>
		<p>新規材料と新規プロセス技術をデバイス製造工程に適用させた次世代半導体デバイス作製の教育研究を行う。特に、高速化・微細化・高信頼化に対応可能な LSI の確立を、個々の材料特性だけでなく、材料の組み合わせからも実現可能なことを概説する。これらを総合した上で、真空技術の進化によって変化する新規材料開発に関する教育研究も行う。 (Vacuum, Semiconductor process, Gas flow, Adsorption, Desorption, Degas, Incident frequency, Material, Transmission, Conductance)</p>	<p>半導体真空技術特論 Vacuum technology</p>	<p>※ 新海 聡子 准教授 SHINKAI Satoko</p>
		<p>従来の集積回路作製のための微細加工技術に加え、3次元微細加工技術に関する教育研究を行う。これらの技術と関わりが深い、3次元集積回路素子、真空マイクロエレクトロニクス、マイクロマシニングなど、集積回路とマイクロ構造体の融合に関する教育研究も行う。 (Microfabrication, Micro Electrical Mechanical System, Inkjet, Sensor Element, Solar Cell, Power Device)</p>	<p>マイクロシステム特論 Advanced Course on Microelectronic Systems</p>	<p>馬場 昭好 准教授 BABA Akiyoshi</p>
システム 創生 情報 工学	システム制御	<p>線形・非線形システムのロバスト性の解析と設計に関する教育研究を行う。動きの仕組みの追究と動くもの創りを体系的に解決するシステム制御理論や、その応用によるバランスのとれた順応能力を持つ制御系の設計法などである。 (Nonlinear dynamical systems, Control theory, Robustness, Stability, Digital control, Biological systems, Cyber-physical network)</p>	<p>ロバスト安定論特論 Robustness and stability of dynamical systems</p>	<p>伊藤 博 教授 ITO Hiroshi</p>
		<p>制御工学に関する教育研究を行う。 特に、数値最適化を基盤とした計算制御論の開拓を中心に、多目的制御系、平方和最適化を用いた制御系設計とその応用、また、画像処理に関する教育研究を行う。 (Control engineering, Optimization, Multi-objective control, Image Processing)</p>	<p>最適化理論特論 Advanced Optimization Theory</p>	<p>※ 延山 英沢 教授 NOBUYAMA Eitaku</p>

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
システム制御	システム制御	ヒューマイドロロボットや移動ロボットに対して知的あるいは高度な行動を実現させるために制御理論およびシステムの構成手法の教育研究を行う。 (humanoid and mobile robot, action planning, control strategy)	知能ロボット特論 Planning Algorithms for Intellectual Robots	※ 小林 啓吾 准教授 KOBAYASHI Keigo
		ロボティクス、フィジオロジカル・コンピューティング、サイバネティック・トレーニングに関する教育研究を行う。特に、ユーザの身体能力の向上や精神状態の改善を目的とする装置の開発に関する教育研究を行う。 (Robotics, Physiological computing, Biofeedback, Cybernetic training)	システムデザイン特論 System Design	小林 順 准教授 KOBAYASHI Jun
		制御理論的な研究をベースに、デジタル信号処理技術や計算科学的な技術を融合して Computational Systems Biology 研究を推進する。また、分子デバイスを使って実装可能な制御系の検討、分子ロボティクスのための制御理論の構築を行う。 (Control theory, Systems biology, Molecular robotics, Biochemical networks)	バイオシステム制御特論 Control theory for biological system	※ 中荻 隆 准教授 NAKAKUKI Takashi
システム数理	システム数理	位相幾何学、微分幾何学、代数幾何学の理論を使って、暗号理論の研究とロボット工学における経路運動計画などの位相幾何学の工学への応用を教育研究する。特に、暗号理論では楕円曲線暗号などの代数曲線暗号や視覚復号型秘密分散法 (VSSS) などの研究を行う。また、経路運動計画では、複数台ロボットの配置空間の位相的性質の研究を行いロボットの移動パターンの分析を行う。さらに、persistent homology 群を利用したデータ解析を研究する。 (Differential Topology, Algebraic Geometry, Cryptography, Motion Planning, Networks)	位相空間論特論 Introduction to Topology 代数幾何学特論 Introduction to Algebraic Geometry 幾何学特論 Introduction to Riemannian Geometry	佐藤 好久 教授 SATO Yoshihisa
		離散数学に代表される情報数学や他の数学的手法を用いた問題解析の基礎概念と、コンピュータ上で問題を効率良く解決するアルゴリズムを設計するための一般的手法に関する教育研究を行う。 (approximation algorithms, online algorithms, randomized algorithms, parallel algorithms, computational complexity)	アルゴリズム工学特論 Advanced Algorithms	宮野 英次 教授 MIYANO Eiji
		確率数値解析に関する教育研究を行う。特に、確率微分方程式に対して、次の特徴を持つ数値解法の導出を目指す：1) 精度の良い近似解を与える、2) 元の方程式の解の性質を数値解においても保存する、3) 計算手順が効率的であり、それによって短時間で計算可能である。また、確率微分方程式の応用（生体内の化学反応の解析など）や電磁界数値シミュレーションに関する教育研究も行う。 (Numerical analysis, Stochastic differential equation, Numerical stability)	確率数値解析特論 Stochastic Numerics	※ 小守 良雄 准教授 KOMORI Yoshio
		離散最適化問題に対する高度なアルゴリズム設計・解析技術の教育研究を行う。特に、分枝限定法や動的計画法などのアルゴリズム設計技法を高性能な解析手法を習得する教育を行い、理論に基づいた先進的なアルゴリズムの実装手法の教育研究を行う。 (Discrete algorithms, Algorithm analysis, Dynamic programming, Branch and bound)	離散アルゴリズム特論 Advanced Discrete Algorithms	※ 斎藤 寿樹 准教授 SAITOH Toshiki

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
システム 創	システム数理	符号理論, デザイン理論に関する教育研究を行う。特に代数的組合せ論の分野を主体に, Association scheme, Delsarte 理論, グラフ理論について教育・研究する。また, 計算機を活用し, 特に Maple や Magma などの数式処理ソフトを用いて, 組合せデータの構築の為の研究を行う。 (Algebraic Combinatorics, Coding theory, Design theory)	代数的組合せ論特論 Algebraic Combinatorics 代数系特論 I Algebra I 代数系特論 II Algebra II	※ 田上 真准教授 TAGAMI Makoto
		バイオイメージデータ解析を題材とし, 大規模・複雑なデータからその背後に潜在する本質的構造をモデリングする, データサイエンスについての教育研究を行う。回帰や判別, 統計的モデル選択, ベイズ推論など統計的機械学習主軸を置き, データ解析に必要なセンスとスキルの取得を目指した教育を行う。また, それと対比させる形で, 深層学習やスパース学習など, 教師あり機械学習についての教育研究を行う。 (Biolume informatics, statistical machine learning, Bayesian statistics)	バイオイメージデータ解析特論 Biolume data analysis	※ 徳永 旭将 准教授 TOKUNAGA Terumasa
		ファジィ測度論, ファジィ情報理論の研究と, これらの評価問題への応用, 及び, 関数解析学, バナッハ空間論, 特に数列空間の諸性質に焦点をあてた教育研究を行う。 (fuzzy measure, fuzzy information theory, Banach space)	数学基礎特論 Foundations of Advanced Mathematics ファジィ情報理論特論 Advanced Topics in Fuzzy Information	※ 本田 あおい准教授 HONDA Aoi
情報 工 学	システム応用	光を利用した計測及びシステムに関する教育研究を行う。特に, 散乱光が示す各種現象の実験的及び理論的研究, 並びにそれらを応用したランダムレーザ, 生体光学, 物体認証の研究を行う。 (Optics, Light scattering, Laser speckle, Random laser, Biolume optics, Object identification, Optical instrumentation)	光波工学特論 Advanced Optical Physics	岡本 卓 教授 OKAMOTO Takashi
		画像処理・パターン認識に関する教育研究を行う。特に視覚情報より発話内容を認識する読唇に関する基礎研究および応用研究を中心に手話認識, システム開発を含めた福祉支援の研究を行う。その他, 自然物の画像認識などを研究する。 (lip reading, sign language recognition, image processing, pattern recognition)	先端画像処理特論 Advanced Topics in Image Processing 認識プログラミング 総合実習 I Recognition programming I	齊藤 剛史 准教授 SAITOH Takeshi
		光を利用したデジタル情報記録, デジタル情報通信, イメージングに関する教育研究を行う。特に体積ホログラフィを用いた大容量光記録および光通信システム, 定量位相イメージングシステムに関する応用研究を中心に行う。 (Optics, Volume holography, Optical memory, Optical communication, Optical microscopy, Quantitative phase imaging, Biolume optics)	光システム学特論 Advanced Optical Systems and Applications	※ 高林 正典 准教授 TAKABAYASHI Masanori

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
機 械 情 報	情報物理	非線形システム及び自然現象におけるカオス現象に関連する教育研究を行う。 特に、古典力学系のカオス及び量子力学系のカオスの教育研究、非平衡統計物理学の基礎的な問題やエルゴード問題の教育研究、管楽器の非線形力学から見た発音機構の教育研究を行う。 (Nonlinear Physics, Quantum Chaos, Musical Acoustics, Aerodynamic sound)	非線形現象特論 Theoretical Approach to Non-Linear Systems	高橋 公也 教授 TAKAHASHI Kin'ya
		教育は、マイクロ流体工学の基礎と応用について行う。具体的には、さまざまなマイクロ流動現象、加工、計測技術などMEMS関連。 研究は、生体の複雑現象の数値解析を行う。(腫瘍増殖、皮膚・毛髪生成、指先血管画像処理、歯槽骨再生、肝臓再生) (Micro Fluidics, Particle Simulation, System Biology)	マイクロ流体工学特論 Micro Fluidics	永山 勝也 教授 NAGAYAMA Katsuya
		液晶における電磁気及び光学的効果に関する教育研究を行う。電気流体力学的不安定性の発生メカニズムに関する基礎研究とその工学的応用を研究する。 (Liquid Crystals, Thermotropic, Lyotropic, Electrohydrodynamics) 外国人留学生を対象にして、科学技術日本語の表現方法を教育する。 (Foreign Students, Technical Japanese)	情報物性特論 Advanced Information Physics 科学技術日本語 Technical Japanese	許 宗焄 教授 HUH Jong-Hoon
		流体工学における複雑な流動現象とその解明のための光学的流体計測および数値シミュレーションに関連する教育研究を行う。特に、弾性運動体まわりや昆虫の翅まわりなどの流体構造連成現象を対象とした渦構造および動的挙動、空力制御デバイスおよび飛翔体の安定性に起因する流れ場、さらには、流れ場の制御材料として期待される導電性高分子ソフトアクチュエータに関連する教育研究を行う。 (Fluid measurements, Computational Fluid Dynamics, Fluid Structure Interaction Problem, Conducting Polymer actuator)	流体力学特論 Fluid Dynamics	淵脇 正樹 教授 FUCHIWAKI Masaki
工 学	機械システム 基 礎	流体構造連成現象に代表されるマルチフィジクス連成の諸問題を解くために有限要素法を中心とする計算力学のアプローチに関する教育研究を行う。特に高精度な数値シミュレーションにより、生物運動のような複雑で大規模なシステムをマルチフィジクス連成の観点から理解し、新しい機械システムに応用することについて教育・研究する。 (Finite Element Method, Coupled Problem, Computational Mechanics, Fluid-Structure Interaction, Large Scale Analysis)	C A E 特論 Computer Aided Engineering	石原 大輔 准教授 ISHIHARA Daisuke
		数値流体力学、電磁流体力学、応用数学、プラズマ物理の分野で、ミクロからマクロ領域を対象とする包括的な研究を、理論解析と数値シミュレーションを主体として行う。 (Computational Fluid Dynamics, Magnetohydrodynamics, Applied Mathematics, Plasma Physics)	電磁気学特論 Electrodynamics	※ 河野 晴彦 准教授 KOHNO Haruhiko
		トライボロジー、ロータダイナミクスに関連する分野の教育研究を行う。特に、流体潤滑状態にあるすべり軸受の油膜特性と軸受性能、すべり軸受で支持した回転体の安定性に関する教育研究について数値シミュレーションを主体として行う。 (Tribology, Rotordynamics, Hydrodynamic Lubrication, Fluid Bearing, Stability)	トライボロジー特論 Tribology	※ 畠中 清史 講師 HATAKENAKA Kiyoshi

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
機 械 情 報 工 学	設計システム	<p>情報システムとメカトロニクスの融合は、機械の知能化を実現するために重要な役割を果たしている。</p> <p>人間・生物の知覚と機械の自律性の観点から融合技術を据え直し、メカトロニクスシステムの総合的な設計・方法論の教育と研究を行う。 (Robotics, Cognitive robot, Affective robot, Mobile robot, Autonomous motion & behavior, Human-Robot Interaction, Natural motion understanding)</p>	ロボティクス設計特論 Advanced Lecture on Robotics and Design Systems	林 英治 教授 HAYASHI Eiji
	精密システム	<p>ナノ3次元構造形成技術の確立からマイクロデバイス化技術へ展開を図り、ナノ・マイクロエンジニアリング分野での教育・研究を進める。ここではナノ微粒に機能性を付加することや、電磁場による材料除去や付着させる手法を確立する。さらにマイクロデバイスの応用として、クリーンエネルギー技術への適用を目指す。 (MEMS, Energy, Micro Devices)</p>	ナノマイクロエンジニアリング特論 Nano / Micro Engineering	鈴木 恵友 教授 SUZUKI Keisuke
		<p>設計・製造技術の高度化に伴い生じてくる、扱う対象の複雑さ、製品の高精度化に対応する設計・製造理論に関する教育研究を行う。</p> <p>具体的には高速製品開発のための統合化設計、生産情報の知的情報処理、3Dプリンターならびに付加製造科学、計測データに基づく生産情報処理、電子・機械系の統合化設計に関する教育研究を行う。 (Additive Manufacturing and 3D-printing, Intelligent Industrial Data Processing, Robust Engineering, Rapid Product Development, Quality Engineering)</p>	メカトロシステム特論 Advanced Lecture on Mechatronics Systems	檜原 弘之 教授 NARAHARA Hiroyuki
		<p>近年半導体分野、医薬、エネルギーなどのあらゆる分野で、技術革新のためにナノスケールの極微小な空間における諸現象を実時間で観測することが求められてきている。また、これからも重要な位置付けの一つである光エネルギーの応用に着目し、それらのナノスケールの諸現象をダイナミックに観測・可視化する新しい先進的な計測手法の可能性を探究する。 (Applied Optics, Laser, Nanoscale, Metrology, Measurement)</p>	光応用ナノスケール計測特論 Applied Optics in Nanoscale Measurement	※ カチョーンルンアン・パナート 准教授 KHAJORNRUNGRU ANG Panart
		<p>工業製品の高機能・高性能化に伴い、これを具現化する設計・製造に関する生産技術に対応する教育研究を行う。</p> <p>成形技術の根幹技術である型技術とその周辺生産技術の高度化およびその設計手法の開発について行う。 (Production Engineering, Mold & Die Engineering, Robust Design)</p>	生産加工学特論 Advanced Production Engineering	※ 是澤 宏之 准教授 KORESAWA Hiroshi
		<p>幅広い分野でのロボットの利活用を実現するためのロボットシステムの知的コントロールシステムに関する教育研究を行う。特に、人の生活を支援するロボットを実現する上で問題になる、簡単な動作指令の方法や、姿勢変化や負荷変動などに合わせて自律的に動作を変化させる仕組みなど、人と連携を取りながら状況に合わせて動作状態を変化できるコントロールシステムの方法論を開発する。 (Robots, Kinematics, and System Design)</p>	応用運動学特論 Applied Kinematics	※ 林 朗弘 准教授 HAYASHI Akihiro

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
機 械 情 報 工 学	生産システム	有限要素法による機械システムの数値シミュレーション方法に関する教育研究を行う。 特に核融合炉や磁気浮上列車で問題となる誘導電磁力による電磁構造連成解析、核融合炉第一壁の強度及び寿命評価解析、並列処理による大規模数値解析、CAEシステムの開発を行う。 (Finite element method, Coupled problem, Computer Aided Engineering)	計算力学特論 Computational Mechanics	※ 堀江 知義 教授 HORIE Tomoyoshi
		ロボティクス・知的制御分野の教育研究を行う。具体的には、羽ばたき飛行ロボットやユニークな飛行体の開発・制御、脳波や脈波などの生体情報を利用した機器操作、非線形システムのファジィ制御に関する教育研究を行う。 (Flying Robot, biological information analysis, intelligent control)	知的ロボット制御特論 Intelligent Robot Control	※ 大竹 博 准教授 OHTAKE Hiroshi
		さまざまな分野でのロボットの利用が期待されている。ロボットが多様な環境の中で柔軟に活動するためには、環境の認識が不可欠である。ロボットに搭載されるカメラや音波センサなど、各種センサについて概説し、それぞれのセンサによる計測結果から外界の環境を認識する手法を示す。講義を通じて、センサの統合によるロボットの実践的な自律制御に関する教育研究を行う。 (Database System, Virtual Reality, Mobil Robot Control)	ロボットセンサ処理特論 Robot Sensor Processing	※ 田中 和明 准教授 TANAKA Kazuaki
		変形、熱、電磁場などの相互作用やマクロスケールとミクロスケールの相互作用により生じる連成現象に関する教育研究を行う。特に、有限要素法に基づく連成解析方法、連成メカニズム、評価方法、応用方法に関する教育研究を行う。また、連成解析およびマルチスケール連成解析の並列解析技術の教育研究も行う。 (Finite element method, Multiscale coupled problem, Large scale analysis)	エネルギー原理と有限要素法特論 Advanced Energy Principles and Finite Element Methods	※ 二保 知也 准教授 NIHO Tomoya
生 命 情 報 工 学	生命情報工学	細胞は外部からの情報をうけとって、形態変化や他の細胞への分化などの高次的機能をはたす。これを分子および遺伝子レベルであきらかにする。具体的には、神経細胞がネットワークを形成するしくみ、アレルギー現象さらにES細胞の分化のしくみなどをあつかう。遺伝子操作、細胞培養および生細胞画像解析の技術を導入した教育研究をおこなう。 (neuronal technology, stem cells, in silico drug design, protein structure, nerve regeneration)	細胞情報伝達特論 Cell Signal Transduction	青木 俊介 教授 AOKI Shunsuke
		ヒトの生理学的しくみをコンピュータに再現して医薬品開発や臨床研究をする。バイオメディカルデータを統計解析して知識発見するデータサイエンスに関する教育研究を行う。デザイン思考、システム思考で医療ニーズを探索し、イノベーションを起こす人材を養成する。 (virtual human, clinical test, drug discovery, systems biology, bioinformatics, design, data science, innovation, entrepreneurship)	生命情報工学特論 Bioinformatics and Biochemical Systems Engineering バイオシミュレーション特論 Biosimulation デザイン思考と医療ビジネス入門 Introduction of design thinking and medical development management バイオメディカルデザイン演習Ⅰ Biomedical Design Practice I バイオメディカルデザイン演習Ⅱ Biomedical Design Practice II	倉田 博之 教授 KURATA Hiroyuki

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
生 命 情 報 工 学	生命情報工学	<p>膜タンパク質はゲノムの遺伝子産物の 2-3 割を占め、イオンポンプによるエネルギー変換、受容体やイオンチャネルによる情報伝達、トランスポーターによる物質輸送など多様な生命現象で主役を果たす。これらを総合的に扱う膜プロテオミクスについて教育するとともに、そのなかでも特に呼吸鎖酵素の構造や機能、調節、多様性、分子進化に関する研究を行う。加えて、バイオテクノロジーや医療、環境分野などで重要な微生物についても教育研究を行う。 (cellular respiration, bioenergy transduction, membrane protein, gram-positive bacteria, microbiological metabolism)</p>	<p>生体分子情報特論 Biomolecular Information 微生物学特論 Microbiology</p>	<p>坂本 順司 教授 SAKAMOTO Junshi</p>
		<p>ペプチドや蛋白質など生体高分子の構造と機能に関する生化学的な教育研究を行う。特に、分光学的解析を主体に、酵素の触媒機構解明について教育・研究する。また、有機合成的手法も取り入れ、新規機能を有する人工酵素の開発および応用に関する教育研究を行う。 (peptide, protein, enzyme, heme, structure-activity relationship, catalytic mechanism)</p>	<p>生命化学特論 Biochemistry</p>	<p>坂本 寛 教授 SAKAMOTO Hiroshi</p>
		<p>タンパク質等の生体分子の分析手法に関する教育研究を行う。特に、様々な物性を有するタンパク質を取り扱う上で不可欠な技術であるプロテインタグシステムに関する教育研究を行う。また、生体分子の相互作用解析法や蛍光分析法に関する教育研究を行う。 (bioanalytical chemistry, protein tagging system, fluorescence analysis, enzyme reaction, fluorescence imaging)</p>	<p>生体分析化学特論 Bioanalytical Chemistry</p>	<p>末田 慎二 教授 SUEDA Shinji</p>
		<p>高分子・液晶分子・界面活性剤分子・ゲル・生体膜・たんぱく質などのソフトマターに関する教育研究を行う。統計力学的理論や計算機シミュレーションの観点から、ソフトマターで起こる様々な相転移現象を記述するための計算法について教育研究を行う。特に相分離と液晶相転移を伴う生体関連の現象に焦点をあて教育研究を行う。 (liquid crystal, polymer, surfactant, membrane, soft matter, statistical physics)</p>	<p>分子計算法特論 Computation Methods for Molecules</p>	<p>松山 明彦 教授 MATSUYAMA Akihiko</p>
		<p>ゲノム配列は、あらゆる生物を横断的に「測る」ことができる唯一の物差しである。つまり、この配列に潜む情報を読み解き、互いに比較することで、生物の普遍性と多様性を明らかにすることができる。ここでは、この試みに関する最先端の研究事例を紹介するとともに、それらを理解するために必要な学問的知識を提供する。具体的な研究事例として、ゲノム配列からの遺伝子発見、転写制御コードの解読、ゲノム配列の設計、遺伝子の誕生などを扱う。 (bioinformatics, genome biology, molecular evolution, statistical model, probabilistic model, computer algorithm)</p>	<p>バイオインフォマティクス特論 Advanced Bioinformatics</p>	<p>矢田 哲士 教授 YADA Tetsushi</p>

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
生命情報工学	生命情報工学	生命情報の中で、脳の（電磁氣的）活動を扱うことは、我々人間を知る上で最も重要な研究分野の1つであり、脳内の情報処理メカニズムの解明や医療分野への貢献が期待される。本授業では、脳の電氣的な活動を反映する「脳波」に注目し、その発生機序から、脳波計測方法、ICAやECDLを中心とする脳波データ解析方法、脳科学の基礎研究やBMIの工学的応用に至るまで広く講義する。更に、脳波計測実験を体験させる。 (EEG, ICA, ECDL, BMI, Statistical Learning)	脳波工学特論 Advanced Course in EEG Engineering	山崎 敏正 教授 YAMAZAKI Toshimasa
		溶液理論を基に蛋白質を題材とした生物化学物理の問題を研究する理論/シミュレーション手法を開発する。立体構造予測問題、モーター蛋白質での分子間相互作用等について、溶媒の効果をとりいれて研究する。統計力学、計算幾何学（情報理論）、Virtual Realityを道具としている。 (protein, water, hydrophobic hydration, solubility, heat capacity, SPT, RISM, 3D-RISM, computational geometry, alpha-shape, excluded volume, accessible surface area, virial coefficient, macromolecular crowding, depletion effect, actin, association, motor protein)	生体機能情報特論 Computational Biomolecular Physics	入佐 正幸 准教授 IRISA Masayuki
		マイクロ波照射下では種々の化学反応が加速され、通常のヒーター加熱と比較すると、同じ温度でありながら100分の1まで反応時間が短縮される。よって、マイクロ波技術は、省エネルギー技術、低炭素化技術として注目され、グリーンイノベーションの一翼を担っている。マイクロ波加熱技術を化学プロセスに応用した研究に加え、細胞培養や遺伝子工学などのバイオプロセスにも展開した教育・研究をすすめる。 (microwave assisted chemistry, organic reaction, bioorganic chemistry, process chemistry, biotechnology, protein engineering, enzymology, omics technology, chemical evolution)	電磁波化学特論 Electromagnetic Wave Applied Chemistry	※ 大内 将吉 准教授 OHUCHI Shokichi
		真核生物の最小単位である細胞内では、様々な分子が情報として互いに認識し合い、秩序だつて成り立っている。特にオルガネラや細胞膜などの形成の仕組みから、それらを人為的に制御・利用することが一部可能である。一方、内外的要因での細胞活動の破たん（細胞死）の制御もバイオメディカル分野で重要である。このような細胞の「生と死」の機構から、これらを制御するオルガネラ工学、細胞工学、生体工学に関する教育研究を行う。 (cell biology, molecular biology, biological chemistry, central dogma, protein traffic, programmed cell death)	遺伝情報特論 Genetic Information	※ 北田 栄 准教授 KITADA Sakae
		生物を理解するためにはその階層性（ゲノムから生態系まで）を横断的に研究することが重要である。つながりを科学する学術分野であるネットワーク科学の観点から大量に得られるようになった生物・環境データから、この生命の階層をシームレスに理解するための理論・計算機科学的手法や環境、医学分野への応用についての教育研究を行う。 (network science, integrative biology, network biology/ecology/medicine, computational biology, systems biology, bioinformatics, metabolic networks, evolution)	計算・統合生物学特論 Computational and Integrative Biology	※ 竹本 和広 准教授 TAKEMOTO Kazuhiro

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
生 命 情 報 工 学	生命情報工学	動物が実世界で生存していくには、外部環境からの情報を適切に処理し、環境に適応した行動を発現することが必要不可欠である。これらの情報処理と行動発現は、主に複雑な神経細胞の造り上げるネットワークによって達成される。本研究室では、比較的単純な神経系を持つ動物の衝突回避行動や餌定位行動などの視覚誘発性行動を対象に、その視覚情報処理、意思決定、行動計画、行動発現戦略の神経機構を、行動実験、生理実験さらには、組織実験などの多様な手法を用いて解明するための教育、研究を行う。 (behavior, neuron, collision avoidance behavior, prey orienting behavior, visual information processing, decision making, motor planning, behavioral strategy, behavioral experiment, physiological experiment, histological experiment)	神経行動学特論 Neuroethology	※ 中川 秀樹 准教授 NAKAGAWA Hideki
		多くの生物種の塩基配列（ゲノム）、遺伝子発現（トランスクリプトーム）、DNA修飾（エピゲノム）、タンパク発現（プロテオーム）、代謝産物（メタボローム）、表現型（フェノーム）などの様々なゲノムレベルのデータ（オミックスデータ）が作成され続けている。これらを情報解析によって、分子レベルの機能メカニズムあるいは進化過程を予測する方法、実験を通じてその予測を証明する方法の概要と現状を説明する。 (Genome, Omics, Comparative genomics, Population Genetics, Experimental design)	ゲノム生物学特論 Genome Biology	※ 花田 耕介 准教授 HANADA Kousuke
		我々は外部及び体内環境からの情報を受け取り、処理して生きている。過度の情報量や不適切なタイミングでの情報処理は、環境の乱れを生じる。そこで情報としての化学物質（医薬品や農薬など）の生体内や環境における移動現象を、量的ならびに時間的に制御する技術について教育研究を行う。特に、医療分野への応用を目的とした薬物治療システムに関する教育研究を行う。 (biomedical engineering, diffusion, partition, controlled release, targeting, penetration enhancement)	医用工学特論 Biomedical Engineering	引間 知広 准教授 HIKIMA Tomohiro
		医用の分野で利用されている化学技術やバイオマテリアルについて、広く網羅した講義を行う。医学の分野で応用されている様々な素材について学習するため、基本的な化学の知識を再確認し、マテリアルの材料となっている有機化合物やタンパク質についての理解を深める。また、医用の現場に必要なドラッグデリバリーシステムについても概要と現状を説明する。 (biomaterial, drug delivery system, elastin)	医用化学工学特論 Chemical & Biomedical Engineering	前田 衣織 准教授 MAEDA Iori

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
情報 報 創 成 工 学	情報駆動機器	半導体デバイスおよびLSI設計に関する教育研究を行う。半導体集積回路の微細化は物理的・経済的限界を迎えつつある。今後は微細化に頼らない高性能化手法がLSIの発展に欠かせない。素子材料からデバイス構造、回路構成、アーキテクチャに至るLSI構成要素全般について再構成・最適化を図る。特にセンサーデバイスやアナログ大規模並列回路を中心に、次世代の高機能センサーや大規模並列処理LSIなどの実現手法に焦点を当て、三次元センサーLSIやニューラルネットワークLSI、脳型デバイスに関する教育研究を行う。 (Large-scale Analog Circuits, Image sensor, 3D range sensor LSI, Neural network LSI, Brain Device)	LSI設計特論 LSI Design 集積回路設計特論 IC Design 半導体トピックセミナー Seminar on semiconductor topics	有馬 裕 教授 ARIMA Yutaka
		ナノ・マイクロエンジニアリング分野の教育研究を行う。微小な機械、マイクロメカニズムを医療分野へ応用し、消化管内走行カプセルやマイクロロボットにより人々の福祉に貢献する。また、MEMS技術を活用してマイクロポンプを用いたドラッグデリバリーシステムやバイオ分析用回路などにより生活の質の向上を目指す。 授業では、マイクロマシンから車両に至るまで幅広くメカニズムを取り上げ、その仕組みと運動について解説する。 (Micro Mechanism, MEMS, Robots)	運動とメカニズム Mechanism and Kinematics	伊藤 高廣 教授 ITO Takahiro
		安心・安全な情報化社会に欠かせない高信頼な大規模集積回路 (LSI) の実現に貢献するテスト技術について教育研究を行う。数千万もの論理素子から構成され数GHzもの高い周波数で動作するLSI回路に機能障害の元となる製造欠陥の有無を調べるテストには、極めて高度な技術が求められている。世界トップレベルの革新的なLSIテスト技術の創出とグローバル人材の育成を目標に教育研究を進める。 (LSI, Test, Design for Testability, Fault Diagnosis, High-Reliability LSI Design)	高信頼性設計論 High Reliability Design	温 暁青 教授 WEN Xiaoping
		VLSIの高信頼化やディバダビリティ向上に必要なテスト手法、テスト容易化設計手法等について教育研究を行う。特に、VLSIの製造テストの高品質化を目的とした、論理回路のテストパターン生成、組み込み自己テスト、さらに、フィールドでのシステムLSIの高信頼化に関する研究に焦点を当てる。 (Design and test of LSIs)	計算機システム特論 I Advanced Computer System I	梶原 誠司 教授 KAJIHARA Seiji
		高速化・低電力化・高機能化といったLSIの高性能化の基本課題に対して、新規な回路・アーキテクチャを提案し、実際にLSIを試作・評価することで、その効果を検証し、同時に、高性能な大規模LSI回路を効率的に設計するための設計手法についても、特に性能の差別化に大きく貢献するトランジスタレベルから検討を行い、ビッグデータ処理や人工知能等への応用を目指した次世代の超大規模LSIのあるべき姿について探求する教育研究を行う。 (Digital Circuits, Analog Circuits, A/Dmix Circuits, Logic LSI, Memory LSI, High-speed Interface, VLSI, EDA)	システムLSI設計論 System-LSI Design	中村 和之 教授 NAKAMURA Kazuyuki

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
情報 報 創 成 工 学	情報駆動機器	LSIの設計, テスト容易化設計, テスト手法, テストパターン生成, 故障診断, 電力解析等について教育研究を行う。特に, LSIテスト時の消費電力増加に関する諸問題の解決を目的とした, 消費電力とレイアウト情報を考慮したテストパターン生成手法, 消費電力増加に起因する欠陥の故障診断に関する研究を行う。 (LSI Design, Layout Design, Design for Testability, Test Pattern Generation, Fault Diagnosis, Power Analysis)	LSIバックエンド設計特論 Advanced Backend Phase of LSI Design	※ 宮瀬 紘平 准教授 MIYASE Kouhei
		機械設計者や医師, 薬剤師等の様々な応用領域の専門家の知識を体系的に整理し, これを情報システムに組み入れ運用するための知識処理手法についての教育研究を行う。特に, 知識のモデル化手法, 知識表現手法, 言語処理系, およびその応用に関する教育研究を行う。また, 高品質ソフトウェア開発のためのプロジェクトマネジメントやソフトウェア開発プロセスに関する教育研究を行う。 (Software Engineering, Knowledge Engineering, Software Process, Project Management, Information System)	パーソナルソフトウェアプロセス計画演習 Personal Software Process - Planning パーソナルソフトウェアプロセス品質演習 Personal Software Process - Quality チームソフトウェアプロセス演習I Team Software Process I チームソフトウェアプロセス演習II Team Software Process II プロジェクトマネジメント特論 Project Management	梅田 政信 教授 UMEDA Masanobu
		スマートグリッド, 遠隔医療システムなど環境に分散的に配置された機器・センサの物理情報をITにより集約することで, 効率的な制御に役立てようとするシステム (Cyber Physical System) を対象とした教育研究を行う。特に, 多様なステークホルダからの要求獲得・コンセプト構築手法, コンピュータと物理世界を統合するシステムの設計・評価技術の研究を行う。 (Cyber Physical System Design and Evaluation, Embedded System, Requirements Elicitation and Concept Making)	クラウド開発型プロジェクト PBL Cloud System	久代 紀之 教授 KUSHIRO Noriyuki
	情報システム	計算機およびネットワークのセキュリティに関する教育研究を行う。 当該分野の課題を概観し, そこで用いられる情報表現や情報分析の数理的手法について, Biometrics (生体認証), Document Security (文書機密保護), Digital Watermarking (電子透かし), Cryptography (暗号化), Computer Security (計算機セキュリティ) の5つの応用を中心とした教育研究を行う。すべてのネットワーク化されたITシステムにおいて不可欠なセキュリティ工学のための, 共通的な視点と個別技術への深い理解への導入となる。また, 講義はすべて英語で行う。 (Pattern Recognition, Image Processing, Soft Computing, Computational Intelligence, Security Technologies, (Multi-Objective) Optimization, Algorithm Theory)	コンピュータショナルセキュリティ Computational Security	KOEPPEN, Mario 教授 KOEPPEN Mario
		近年, 高精度, 高品質な製品の効率的な生産が求められ, 設計工程から製造工程までの生産工程を支援するCADソフトウェアが必要不可欠となっている。通常, CADはブラックボックス的に使用されることが多いが, 本科目では理解を深め, 応用力を高めるため, 使用方法だけでなく内部の仕組みや実現方法について講義する。また, 製造工程で必要となる大量データの処理, 実時間性の必要な処理などをサポートする情報システムについて教育研究を行う。 (Computer Aided Control System Design, Numerical Computation, Simulation, Java Technology)	リアルタイム・システム Real Time System	古賀 雅伸 教授 KOGA Masanobu

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
情報 報 創 成 工 学	情報システム	<p>情報システムのアーキテクチャについて、アーキテクチャとは何か、様々な観点からのアーキテクチャの構築法、分析法、およびケーススタディとして、現実の分散ミドルウェアを例に、アーキテクチャの構築法を教育する。</p> <p>また、要求や環境の変化に対応して、一定の信頼性、安全性、性能を維持するための適応性を重視した分散オブジェクト指向ミドルウェアのアーキテクチャおよび実現に関する研究を行う。</p> <p>(Software Architecture, Object-oriented Computing, Distributed Computing, Adaptability)</p>	システムアーキテクチャ特論 System Architecture	吉田 隆一 教授 YOSHIDA Takaichi
		<p>ソフトウェアや知識のモデリング技術を中心に、各種専門家のノウハウを組み込んだ高度な情報システムを構築するための業務分析・モデリング、仕様記述言語、開発支援環境について教育研究する。また、高品質なソフトウェアを計画通りに開発するためのプロジェクトマネジメントやソフトウェアプロセス、ソフトウェアエンジニアリングに関する教育研究も行う。</p> <p>(Software Engineering, Knowledge Engineering, Systems Engineering, Software Process, Project Management)</p>	パーソナルソフトウェアプロセス 計画演習 Personal Software Process - Planning パーソナルソフトウェアプロセス 品質演習 Personal Software Process - Quality チームソフトウェアプロセス演習I Team Software Process I チームソフトウェアプロセス演習II Team Software Process II ソフトウェア工学特論 Software Engineering プロジェクトマネジメント特論 Project Management	※ 片峯 恵一 准教授 KATAMINE Keiich
		<p>オペレーティングシステムや仮想計算機などのシステムソフトウェアについての教育研究を行う。オペレーティングシステムとして、計算機だけでなく組み込み機器などの様々な用途に使われるようになっているLinuxを主な対象とする。また、近年脚光を浴びている仮想計算機の技術を用いた、システム全体の信頼性やセキュリティの向上についての教育研究を行う。</p> <p>(Operating System, Virtual Machine, Dependability, Security)</p>	OSと仮想化特論 Advanced OS and Virtualization	※ 光来 健一 准教授 KOURAI Kenichi
		<p>オブジェクト指向を用いて、ビジネスの構造、動的な側面、情報の流れなどを分析し、モデル化する手法を修得する。また、モデル化の過程で、ビジネスをより競争優位に導くための合理化とサービスの提供方法について検討し、議論する。講義の中では、例題を用いてビジネスモデリングを実践することによって、各自が修得した知識を評価する。</p>	ビジネス・モデリング特論	※ 中谷 多哉子 客員准教授 NAKATANI Takako
	メディア工学	<p>物理的にではなく、コンピュータとネットワークの中に情報的に構築された仮想空間は、情報の視覚的・空間的な提示機能と、人間との直感的な対話機能により、人を中心に据えた情報システムの重要な構成要素になりつつある。本講義では、仮想空間の構築法に関する基本的な技術を学ぶと共に、個人、組織、コンピュータなどの主体間のコミュニケーションの場、あるいは多様な情報サービスの場としての仮想空間の応用技術の教育研究を行う。</p> <p>(3D Virtual Environments, Motion sensors, Haptic devices, Geographic Information Systems)</p>	仮想空間論 Virtual Reality	碓崎 賢一 教授 KAKIZAKI Ken'ichi

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。
Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

情報工学専攻 Department of Computer Science and Systems Engineering

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
情報 報 創 成 工 学	メディア工学	情報教育に関する教育研究を行う。特に、情報教育の教育方法と評価、カリキュラムおよび教材開発に関する教育研究を行う。情報社会における情報教育の果たす役割、教科教育における情報教育の果たす役割、また、学習者の主体的な学びや問題解決、知識の創造を促進する情報教育の機能についての教育研究を行う。また、教育工学、特に e-Learning について、授業設計の方法論や授業改善など実践的な観点での教育研究も行う。 (Information Education, Educational technology)	情報教育特論 Advanced Information Education Studies	※ 西野 和典 教授 NISHINO Kazunori
		画像処理技術、生体高分子の構造・機能連関、三次元画像表示、電子顕微鏡技術に関する教育と研究を行う。特に、電子顕微鏡 2 次元画像から 3 次元画像を構築するためのアルゴリズムおよびそのプログラム開発環境の構築を行う。また、構造情報統合化のためのアルゴリズムの開発と 3 次元構造データベースの構築を通して、生命のもつ構造と機能の連関を明らかにするためのシステム構築を行う。さらに、構築されたシステムを用いて、現実のタンパク質の構造解析を行い、その機能との連関を研究する。 (Structural Biology, electron microscopy, Biophysics, Molecular Motor, bioenergetics)	生命機能構造連関特論 Advanced Course of Relationships between Structure and Function of Life デジタル画像処理特論 Advanced Course of Digital Image Processing	安永 卓生 教授 YASUNAGA Takuo
		ヒューマン・インタフェースは、ユーザとコンピュータシステムを結び付けるものであり、システムやアプリケーションの評価を大きく左右する重要なものである。物理的な入出力デバイスの仕組み、デバイスドライバー、ツールキット、そしてアプリケーションに至るインタフェースシステム全体を系統的に扱う。また、最新のインタフェース、マルチユーザインタフェース、現実指向インタフェースなどを取り扱う。また、これらのインタフェースの評価方法についても教育研究を行う。 (Pattern recognition, Robotics, Human interface)	ヒューマン・インタフェース Human Interface	大橋 健 教授 OHASHI Takeshi
		コンピュータグラフィックスの応用技術について教育研究を行う。コンピュータグラフィックス技術を利用したソフトウェアを開発する上で重要となる手法や理論を、実際の演習を交えながら習得する。 (Computer Graphics, Computer Animation)	コンピュータグラフィックス特論Ⅱ Advanced Computer Graphics II	尾下 真樹 准教授 OSHITA Masaki
		人の思考プロセスのモデル化、人が持っている知識のモデル化について述べる。さらに、計算機システムが利用者のモデルを推定して、利用者に応じて個別化した対応をする方法についても教育研究を行う。 (Intelligent Learning Support System, Computer Assisted Language Learning, English Learning, Natural Language Processing)	思考モデリング Knowledge and Thinking Process Modeling	※ 國近 秀信 准教授 KUNICHIKA Hidenobu
		メディア情報の高付加価値化に関する教育研究を行う。特に、画像データを対象とした情報ハイディングをベースとする高付加価値化（例えば、セキュリティ技術への応用）に関する研究を行う。理論だけではなく、プログラミングにより高付加価値化のアルゴリズムをコンピュータ上に実装する技術についても解説する。 (Enriched Multi-Media, Information Hiding, Image Processing, Image Analysis)	マルチメディアセキュリティ特論 Advanced Course in Multimedia Security	※ 新見 道治 准教授 NIIMI Michiharu

※印の教員を指導教員に希望することはできません。

※ 以下に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

専門分野	講座等	教育研究分野 (Keywords)	授業科目 Course Title	担当教員 Academic Staff
共通	教養教育院	現代社会における社会変化に関する教育研究を行う。特に、情報化、グローバル化、少子高齢化、階層分化等の現状分析とそれらがもたらす影響の分析、変化の特性把握に関する教育研究を行う。 (Computerization, Informatization, Globalization, Decreasing Birthrate Society, Advanced of Aging Society, Social Stratification)	情報社会学 Information Society	※ 安河内 恵子 教授 YASUKOCHI Keiko
		ネットワークを利用しながら製造や販売・消費を行う時代における経済取引に関する講義を行う。企業は情報の複製コストの小ささを利用してバージョン化を行い規格化を進め、消費者はネットワーク外部性の恩恵にあずかる一方でスイッチングコストの大きさによって囲い込まれる。これらが複合された経済全体のパフォーマンスについて解説する。 (Network externality, De facto standard, Switching cost)	ネットワーク経済学 Network Economics	※ 大石 英貴 准教授 OISHI Hideki
		一人一人が固有の文化を持つという立場からは、グローバル化が注目される以前から、我々は多様な他者と共に暮らしてきた。しかし急速な社会変化を伴うグローバル化の進展は、文化多様性をめぐる受容と廃除の拮抗する言説に影響を強く与え、私たちの学び方、働き方、暮らし方を変えている。そこで、文化多様性をめぐる社会的言説の現状、およびその変化の影響に関する教育研究を行う。 (Cultural Diversity, Globalization, Critical Discourse Analysis)	多文化共生特論 Diversity, Inclusion and Equity	※ 加藤 鈴子 准教授 KATO Reiko
		言語の理論的分析について教育研究を行う。特に変換生成文法の標準理論について、日本語と英語を対象として、自然言語を代数的に扱おうとした時に、どのような言語事実が問題となるか、またそれを解決するためにどのような道具立てが必要となるか、について教育研究を行う。 (Generative Grammar, Standard Theory, Context Free Grammar, Surface Structure, Deep Structure)	言語学特論 General Linguistics	※ 高木 一広 准教授 TAKAGI Kazuhiro

※印の教員を指導教員に希望することはできません。

(別紙様式①)

[出願資格審査用]

平成 年 月 日

出願資格判定申請書

九州工業大学長 殿

志願者 氏 ^{ふりがな} 名 ㊟
生年月日 年 月 日生

今般、貴大学大学院情報工学府博士後期課程情報工学専攻に入学を志願するにあたり、出願資格の判定を受けたく、所定の書類を添えて申請いたしますので、よろしく申し上げます。

(大学記入欄)

受 番	付 号	
--------	--------	--

(別紙様式②)

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

[出願資格審査用]

九州工業大学大学院情報工学府
博士後期課程 出願資格判定調書

受付 番号					
志願専攻名	情報工学専攻	現職 (所属・職名)		所在地 連絡先	TEL
ふりがな 氏名		現住所			TEL
生年月日(年齢)	年 月 日生 (歳) ※平成30年5月1日現在(第2次募集出願者は,平成31年1月1日現在)の年齢を記入すること。				
年 月	学 歴 (外国人特別選抜は小学校以降,それ以外は高等学校卒業以後を記入すること)				
年 月	職 歴				
年 月	学会,その他における活動,貢献,その他特記すべき事項				

(別紙様式④)

[出願資格審査用]

研究歴証明書

氏 名

生年月日

年

月

日生

上記の者は、下記のとおり研究歴を有することを証明する。

在籍した機関, 部局名 及びその時の身分等	
研 究 期 間	自 年 月 日 至 年 月 日 (年 月間)
研究テーマ 及びその内容等	

平成 年 月 日

所在地

機関名

職 名

氏 名

印

平成31年度(平成31年4月入学)・平成30年10月入学

↑ いずれかの欄にチェックを入れること

九州工業大学大学院情報工学府(博士後期課程)

入学願書(一般選抜)

ふりがな 氏名	-----			受験番号	※
性別	男・女	生年月日	年 月 日	本籍地	都道府県
現住所	〒 ----- TEL () eメールアドレス:				
受験のための 連絡先	〒 ----- TEL () eメールアドレス: できるだけ携帯電話番号を記入してください				
志望専攻名	情報工学専攻	志望専門分野	工学		
		志望指導教員			

学歴	年 月 県, 私立	高等学校卒業
	年 月 国, 公, 私立	大学 学部 学科入学
	年 月 国, 公, 私立	大学 学部 学科卒業
	年 月 国, 公, 私立	大学 大学院 研究科 修士課程, 博士前期課程 専攻入学
	年 月	同上修了・修了見込
*	年 月	
職歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

- [注] 1. 第1次募集・第2次募集ともに、本願書を使用すること。
 2. 受験を希望する入学年月の欄にレ印を記入すること。
 3. 願書はインク又はボールペンを使用し、楷書で明記のこと。
 4. ※印の箇所は記入しないこと。
 5. 履歴事項は主なものを記載すること。
 6. *印の箇所は研究生等の学歴がある場合に記入する。
 7. 志望専門分野は、「九州工業大学大学院情報工学府の概要」に記載された「1. 情報工学府の構成」の「専門分野」から選択のこと。
 8. 本冊子中に掲載の「教育研究分野及び授業科目」に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認のうえ記入すること。

検定料納入証明書・
収納証明書貼り付け欄

必ず郵便局の受付窓
口又はコンビニエンス
ストアで払い込んで下
さい。

検定料

30,000円

検定料納入証明書に受
付局日付印が押印され
ていない場合は受理で
きないので特に注意し
てください。

※日本政府(文部科学
省)国費留学生は、納付
不要です。

※本学大学院博士前期
課程を修了見込みで、引
き続き博士後期課程に
進学する志願者は納付
不要です。

(博士後期課程)一般選抜

受 験 票

受 験 番 号	※
氏 名	
生 年 月 日	
志 望 専 攻	情報工学専攻
志望専門分野	工学

写 真

◎半身脱帽正面向きで出願前
3か月以内に撮影のもの

◎本欄と同形程度のもの
(4.5 cm×4.5 cm)

◎写真裏面に氏名及び志望専
攻を記入の上、全面のりづ
けのこと

[注]

1. この受験票は、試験当日係員に提示すること。
2. 受験時は、掲示板及び係員の指示に従うこと。
3. 入学手続きの際、本票を提示すること。

平成31年度・平成30年10月入学
九州工業大学大学院情報工学府
(博士後期課程)一般選抜

写 真 票

受 験 番 号	※
氏 名	
生 年 月 日	
志 望 専 攻	情報工学専攻
志望専門分野	工学

写 真

◎半身脱帽正面向きで出願前
3か月以内に撮影のもの

◎本欄と同形程度のもの
(4.5 cm×4.5 cm)

◎写真裏面に氏名及び志望専
攻を記入の上、全面のりづ
けのこと

□平成31年度(平成31年4月入学)・□平成30年10月入学

↑ いずれかの□欄にチェックを入れること

九州工業大学大学院情報工学府(博士後期課程)

入学願書 (社会人特別選抜)

ふりがな 氏名	-----			受験番号	※
性別	男・女	生年月日	年 月 日	本籍地	都道府県
現住所	〒 -----			TEL ()	eメールアドレス:
受験のための 連絡先	〒 -----			TEL ()	できるだけ携帯 電話番号を記入 してください
志望専攻名	情報工学専攻	志望専門分野	工学		
		志望指導教員			

現在の勤務先	企業等の名称				
	所属部課等				
	志望専攻の専門に関する経験及び職務内容	年 月 ~	年 月	(職務又は研究内容)	
学歴	年 月	県, 私立	高等学校卒業		
	年 月	国, 公, 私立	大学	学部	学科入学
	年 月	国, 公, 私立	大学	学部	学科卒業
	年 月	国, 公, 私立	大学	大学院	研究科 専攻入学
		年 月	同上修了・修了見込		
*	年 月				
職歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				

- [注] 1. 第1次募集・第2次募集ともに、本願書を使用すること。
 2. 受験を希望する入学年月の□欄にレ印を記入すること。
 3. 願書はインク又はボールペンを使用し、楷書で明記のこと。
 4. ※印の箇所は記入しないこと。
 5. 履歴事項は主なものを記載すること。
 6. *印の箇所は研究生等の学歴がある場合に記入する。
 7. 志望専門分野は、「九州工業大学大学院情報工学府の概要」に記載された「1. 情報工学府の構成」の「専門分野」から選択のこと。
 8. 本冊子中に掲載の「教育研究分野及び授業科目」に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認のうえ記入すること。

検定料納入証明書・収納証明書は下の太枠の中にはがれないようにしっかりと貼り付けて下さい

検定料納入証明書・
収納証明書貼り付け欄

必ず郵便局の受付窓口又はコンビニエンスストアで払い込んで下さい。

検定料

30,000円

検定料納入証明書に受付局日付印が押印されていない場合は受理できないので特に注意してください。

※本学大学院博士前期課程を修了見込みで、引き続き博士後期課程に進学する志願者は納付不要です。

平成31年度・平成30年10月入学
九州工業大学大学院情報工学府
(博士後期課程)社会人特別選抜

受 験 票

受 験 番 号	※
氏 名	
生 年 月 日	
志 望 専 攻	情報工学専攻
志望専門分野	工学

写 真

◎半身脱帽正面向きで出願前
3か月以内に撮影のもの

◎本欄と同形程度のもの
(4.5 cm×4.5 cm)

◎写真裏面に氏名及び志望専
攻を記入の上、全面のりづ
けのこと

[注]

1. この受験票は、試験当日係員に提示すること。
2. 受験時は、掲示板及び係員の指示に従うこと。
3. 入学手続きの際、本票を提示すること。



平成31年度・平成30年10月入学
九州工業大学大学院情報工学府
(博士後期課程)社会人特別選抜

写 真 票

受 験 番 号	※
氏 名	
生 年 月 日	
志 望 専 攻	情報工学専攻
志望専門分野	工学

写 真

◎半身脱帽正面向きで出願前
3か月以内に撮影のもの

◎本欄と同形程度のもの
(4.5 cm×4.5 cm)

◎写真裏面に氏名及び志望専
攻を記入の上、全面のりづ
けのこと

平成31年度4月入学(April 2019 Enrollment)

平成30年10月入学(October 2018 Enrollment)

↑ いずれかの□欄にチェックを入れること

九州工業大学大学院情報工学府(博士後期課程)

Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Doctoral Programs), Kyushu Institute of Technology

入学願書(外国人留学生特別選抜)

Application Procedure for International Students

氏名 Name in Full		FAMILY First Middle		受験番号	※
性別 Sex	男・女	生年月日 Date of Birth	年 月 日 Year Month Day	国籍 Nationality	
現住所 Address		〒 — TEL () E-mail			
受験のための 連絡先 Address for Correspondence		〒 — TEL () E-mail			できるだけ携帯 電話番号を記 入してください
出願資格 Applicant's Qualifications		国・公・私・立 大学 学部 学科 (その他) 年 月 日 卒業・卒業見込 (その他)			
志望専攻名 Department of Your Choice		情報工学専攻 Computer Science and Systems Engineering	志望専門分野 Division	工学	
		志望指導教員 Supervisor			

学歴 School backgr ound	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月
職歴 Profess ional Career	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月
	年 月 ~ 年 月

- [注] 1. 第1次募集・第2次募集ともに、本願書を使用すること。
2. 受験を希望する入学年月の□欄にレ印を記入すること。
3. 願書はインク又はボールペンを使用し、楷書で明記のこと。
4. ※印の箇所は記入しないこと。
5. 志望専門分野は、「九州工業大学大学院情報工学府の概要」に記載された「1. 情報工学府の構成」の「専門分野」から選択のこと。
6. 学歴は、小学校から記入すること。
7. 本冊子中に掲載の「教育研究分野及び授業科目」に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知するので、よく確認のうえ記入すること。

検定料納入証明書・収納証明書は下の太枠の中にはがれないようにしっかりと貼り付けて下さい

検定料納入証明書・
収納証明書貼り付け欄

必ず郵便局の受付窓口又はコンビニエンスストアで払い込んで下さい。

検定料

30,000円

検定料納入証明書に受付局日付印が押印されていない場合は受理できないので特に注意してください。

※日本政府(文部科学省)国費留学生は、納付不要です。

受 験 票

受験番号	※
氏 名 Name in Full	
生 年 月 日 Date of Birth	
志 望 専 攻 Department of Your Choice	情報工学専攻 Computer Science and Systems Engineering
志望専門分野 Division	工学

写 真

◎半身脱帽正面向きで出願前
3か月以内に撮影のもの

◎本欄と同形程度のもの
(4.5 cm×4.5 cm)

◎写真裏面に氏名及び志望専
攻を記入の上、全面のりづ
けのこと

Paste the photo of applicant taken
within the past three months.

[注]

1. この受験票は、試験当日係員に提示すること。
2. 受験時は、掲示板及び係員の指示に従うこと。
3. 入学手続きの際、本票を提示すること。



写 真 票

受験番号	※
氏 名 Name in Full	
生 年 月 日 Date of Birth	
志 望 専 攻 Department of Your Choice	情報工学専攻 Computer Science and Systems Engineering
志望専門分野 Division	工学

写 真

◎半身脱帽正面向きで出願前
3か月以内に撮影のもの

◎本欄と同形程度のもの
(4.5 cm×4.5 cm)

◎写真裏面に氏名及び志望専
攻を記入の上、全面のりづ
けのこと

Paste the photo of applicant taken
within the past three months.

研究（希望）計画書

志望専攻 情報工学専攻

志望専門分野

指導希望教員氏名

氏名

(1,000字程度にまとめてください)

修士論文の概要

No. _____

志望 専攻	情報工学専攻	志望専門 分野		氏名	
----------	--------	------------	--	----	--

(2,000字程度にまとめてください)

あて名票

<div style="text-align: center;">□□□□-□□□□ □□□□□□□□</div> <p>(氏名) (住所)</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">様</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin-left: auto; text-align: center;">※</div>	<div style="text-align: center;">□□□□-□□□□ □□□□□□□□</div> <p>(氏名) (住所)</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">様</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin-left: auto; text-align: center;">※</div>	<div style="text-align: center;">□□□□-□□□□ □□□□□□□□</div> <p>(氏名) (住所)</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">様</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin-left: auto; text-align: center;">※</div>
--	--	--

・本人宛に合格通知等の郵便物が確実に届くよう、郵便番号・住所・氏名を全て記入すること。住所がアパート・団地等の場合はアパート名・棟番号等も記入すること。

・3枚全てに記入すること。

・住所等に変更があった場合は、必ず情報工学部大学院係に連絡すること。

※印欄は記入しないこと。

※このあて名票は、入学者選抜に係わる書類送付の目的以外には使用しません。

コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。




「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、
FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。



申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

ケイステーション
Kstation

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券/受付票**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

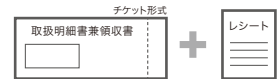
① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)。



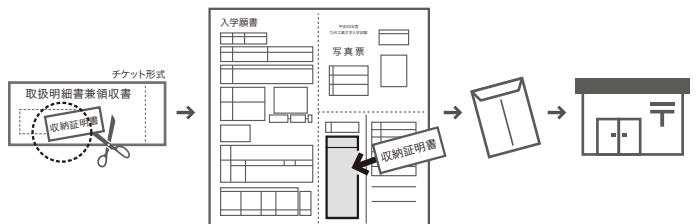
*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、願書の「**検定料納入証明書等貼り付け欄**」に貼り付け、郵送してください。

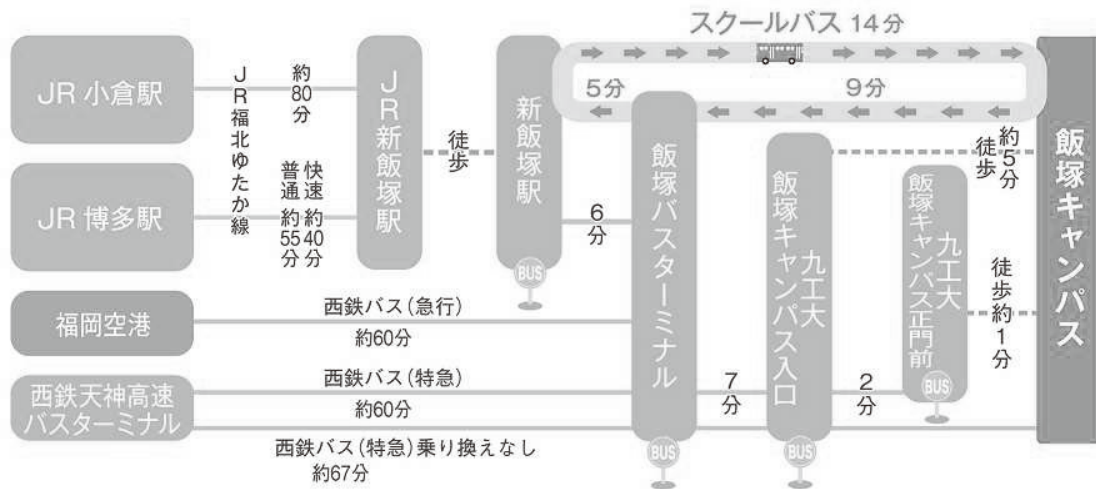
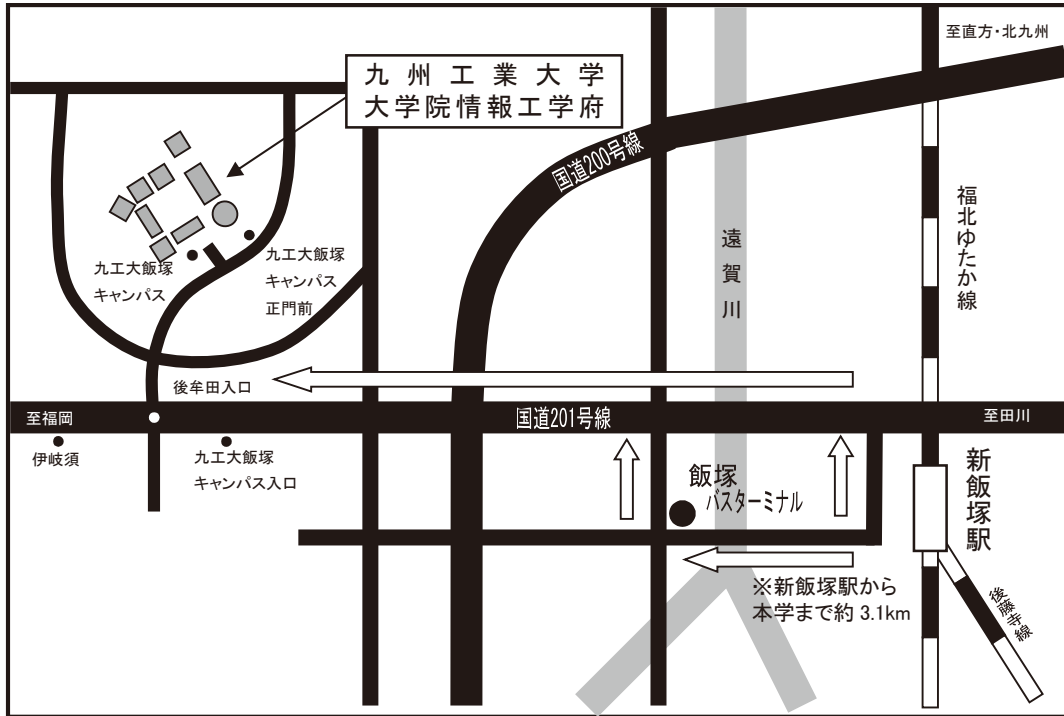
貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 九州工業大学 大学院工学府(大学院係) TEL 093-884-3057 / 大学院情報工学府(大学院係) TEL 0948-29-7520
大学院生命体工学研究科(教務・入試係) TEL 093-695-6006
(受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 *土日・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> *コンビニ店頭ではお応えできません。

九州工業大学大学院情報工学府案内図



◎J R「新飯塚駅」からスクールバスを運行

平日の8時～21時まで、主に始業・終業に合わせて10～45分間隔で運行しています
(ただし授業期間外は減便運行)

詳細は、http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/school_bus/を参照

◎J R「新飯塚駅」及び西鉄「飯塚バスターミナル」から西鉄バスを利用する場合

②番乗車 (九工大・伊岐須・高雄団地・坂の下行)

◎J R「新飯塚駅」よりタクシー利用 約7分